




Dell™ Vostro™ 1200
オーナーズマニュアル

モデル PP16S

メモ、注意、および警告

-  **メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2007 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. の書面による許可のない複写は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、Vostro、および TravelLite は Dell Inc. の商標です。Intel および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Windows Vista は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の商標です。Blu-ray Disc は Blu-ray Disc Association の商標です。

この文書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル **PP165**

2007 年 11 月

P/N TR683

Rev.A00

目次

1	情報の検索	11
2	コンピュータについて	19
	正面図	19
	左側面図	23
	右側面図	24
	背面図	25
	底面図	27
3	バッテリーの使い方	29
	バッテリーの性能	29
	バッテリーの充電チェック	30
	Microsoft® Windows® 電源メーター	30
	バッテリーの低下を知らせる警告	31
	バッテリー電源の節約	31
	省電力モード	32
	スタンバイモードとスリープモード	32
	休止状態モード	32
	電源管理の設定	33
	電源オプションのプロパティに アクセスする方法	33
	バッテリーの充電	34

バッテリーの取り外し	34
バッテリーの保管	35
4 キーボードの使い方	37
テンキーパッド	37
キーの組み合わせ	38
システム関連	38
電力の管理	38
スピーカー関連	38
Microsoft® Windows® ロゴキー関連	38
タッチパッド	39
タッチパッドのカスタマイズ	40
5 ディスプレイの使い方	41
輝度の調節	41
プロジェクタの使い方	41
イメージやテキストをより大きくまたは よりシャープにする	42
Microsoft® Windows® XP	42
Windows Vista™	43
モニターとコンピュータディスプレイの両方を 使用する	43
Microsoft® Windows® XP	44
Windows Vista™	45
モニターをプライマリディスプレイ として使用する	45
Microsoft® Windows® XP	45
Windows Vista™	46

6	マルチメディアの使い方	47
	CD または DVD の再生	47
	CD および DVD のコピー	49
	CD または DVD のコピー方法	49
	空の CD および DVD の使い方	50
	役に立つヒント	51
	音量の調節	52
	画面の調整	52
7	ネットワークのセットアップ と使い方	53
	ネットワークまたはブロードバンド モデムの接続	53
	Microsoft® Windows® XP オペレーティングシス テムにおけるネットワークのセットアップ	54
	Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシス テムにおけるネットワークのセットアップ	55
	ワイヤレス LAN (ローカルエリアネット ワーク)	55
	ワイヤレス LAN 接続の設定に 必要なもの	55
	お使いのワイヤレスネットワーク カードの確認	56
	ワイヤレスルーターとブロードバンド モデムを使用した新しい WLAN のセッ トアップ	57
	WLAN への接続	58
	Microsoft® Windows® ファイアウォール	60

8	カードの使い方	61
	ExpressCard	61
	ExpressCard のダミーカード	61
	ExpressCard の取り付け	62
	ExpressCard、またはダミーカード の取り外し	63
9	コンピュータのセキュリティ保護	65
	セキュリティケーブルロック	65
	パスワード	66
	パスワードについて	66
	プライマリ（またはシステム）パス ワードの使い方	67
	システム管理者パスワードの使い方	67
	コンピュータ追跡ソフトウェア	68
	指紋リーダー（オプション）	68
	お使いのコンピュータが紛失または盗難に 遭った場合	69
10	トラブルシューティングツール	71
	診断ライト	71
	POST 実行中の診断用ライトコード	71
	システムメッセージ	72
	ハードウェアに関するトラブル シューティング	77


Dell Diagnostics (診断) プログラム	77
Dell Diagnostics (診断) プログラムを 使用する場合	77
ハードドライブから Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動	78
『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics (診断) プログラムを 起動する場合	80
Dell Diagnostics (診断) プログラムの メインメニュー	81
11 トラブルシューティング	85
バッテリーの問題	85
E-メール、モデム、およびインター ネットの問題	85
エラーメッセージ	87
フリーズおよびソフトウェアの問題	89
メモリの問題	91
ネットワークの問題	91
電源の問題	92
プリンタの問題	93
スキャナーの問題	94
サウンドとスピーカーの問題	95
タッチパッドまたはマウスの問題	96
ビデオとモニタの問題	97
電源ライト	98
Dell テクニカル Update Service	99
デルサポートユーティリティ	99
デルサポートユーティリティへの アクセス	99
デルサポートアイコンのクリック	100
デルサポートアイコンのダブルクリック	100


12 セットアップユーティリティ	101
概要	101
セットアップユーティリティ画面の表示	102
セットアップ画面	102
通常使用するオプション	102
起動順序の変更	102
赤外線センサーの有効化	104
13 ソフトウェアの再インストール	105
ドライバ	105
ドライバとは?	105
ドライバの確認	105
ドライバおよびユーティリティの再インストール	106
ハードウェアおよびソフトウェアの問題	110
お使いのオペレーティングシステムの復元	111
Microsoft Windows システムの復元の使い方	112
Dell™ PC Restore および Dell Factory Image Restore の使用	113
オペレーティングシステムメディアの使用	117
14 コンピュータを携帯するときは	119
コンピュータの所有者の証明	119
コンピュータの梱包	119

携帯中のヒントとアドバイス	120
飛行機への持ち込み	121
15 困ったときは	123
テクニカルサポートの利用法	123
テクニカルサポートとカスタ マーサービス	124
DellConnect	124
オンラインサービス	124
ファックス情報サービス	125
24 時間納期案内電話サービス	125
ご注文に関する問題	125
製品情報	126
保証期間中の修理と返品について	126
お問い合わせになる前に	127
デルへのお問い合わせ	129
16 仕様	131
17 付録	137
FCC Notices (U.S. 限定)	137
FCC Class B	137
コンピュータのクリーニング	138
コンピュータ、キーボード、および ディスプレイ	138

マウス (非オプティカル)	139
タッチパッド	139
CD および DVD	139
用語集	141
索引	159

情報の検索

 メモ：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

 メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合もあります。

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- コンピュータの Diagnostics (診断) プログラム 『**Drivers and Utilities**』 メディア
- コンピュータのドライバ
- ノートブックシステムソフトウェア (NSS)

マニュアルおよびドライバは、出荷時に、コンピュータにプリインストールされています。メディアを使用してドライバを再インストールできます (106 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照)。

メディアに収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。



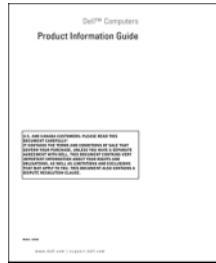
メモ：ドライバとマニュアルのアップデートに関しては、support.jp.dell.com をご覧ください。

何をお探しですか？

- 保証に関する情報
- 契約条件（アメリカのみ）
- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 快適な使い方
- エンドユーザーライセンス契約

こちらをご覧ください

Dell™ 製品情報ガイド



-
- コンピュータのセットアップ方法

セットアップ図

メモ：コンピュータに付属のセットアップ図を参照してください。

メモ：セットアップ図の外観は変わる場合があります。

-
- コンピュータのセットアップ方法



何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- サービスタグおよびエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

サービスタグと **Microsoft® Windows®** ライセンス

メモ：コンピュータのサービスタグと Microsoft® Windows® ライセンスラベルはコンピュータに貼付されています。

お使いのコンピュータのサービスタグにはサービスナンバーとエクスプレスサービスコードの両方が含まれています。

- サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。
- エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。



- ライセンスラベルの **Product Key** (プロダクトキー) は、オペレーティングシステムを再インストールする場合に使用します。

メモ：セキュリティを高める手段の1つとして、新たに設計された **Microsoft Windows** ライセンスラベルでは、ラベルの取り外しを阻止するために失われた部分、つまり「ホール」を組み込みます。

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- 技術情報 — [トラブルシューティング](#)のヒント、技術者による論説、オンラインコース、およびよくあるお問い合わせ (FAQ) [デルサポートサイト — support.jp.dell.com](#)
- コミュニティ — [ほかのデルカスタマとのオンラインディスカッション](#) **メモ：**お住まいの地域または業務部門を選択して、適切なサポートサイトを表示してください。
- アップグレード — [メモリ、ハードドライブ、およびオペレーティングシステムなどのコンポーネントに関するアップグレード情報](#)
- サービスと保証 — [問い合わせ先、サービスのお問い合わせ、保証、および修理に関する情報](#)
- サービスおよびサポート — [サービス契約](#)
- Dell [テクニカル Update Service](#) — [お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。](#)
- 参考資料 — [コンピュータのマニュアル、コンピュータ設定の詳細、製品仕様、およびホワイトペーパー](#)
- ダウンロード — [承認ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート](#)

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- ノートブックシステムソフトウェア (NSS) — お使いのコンピュータでオペレーティングシステムを再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、オペレーティングシステムの重要なアップデート、プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスなどに関するサポートを提供します。NSS はお使いの Dell コンピュータが正しく動作するために必要なものです。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。


NSS システムソフトウェアをダウンロードするには、次の手順を実行します：

- 1 **support.jp.dell.com** にアクセスし、**ドライバ & ダウンロード** をクリックします。
- 2 サービスタグ、または製品タイプと製品モデルを入力し、**進む** をクリックします。
- 3 **システムと構成ユーティリティ** → **Dell ノートブックシステムソフトウェア**までスクロールし、**今すぐダウンロード** をクリックします。
- 4 **ドライバ & ダウンロード** を選択し、**進む** をクリックします。

メモ： **support.jp.dell.com** ユーザーインターフェースは、選択内容により異なる場合があります。

- ソフトウェアのアップグレードおよびトラブルシューティングのヒント — よくあるお問い合わせ (FAQ)、最新トピック、コンピューティング環境全体の状態

デルサポートユーティリティ


デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされている自動アップグレードおよび通知システムです。このサポートは、お使いのコンピュータ環境のリアルタイムな状態のスキャン、ソフトウェアのアップデート、および関連するセルフサポート情報を提供します。デルサポートユーティリティには、タスクバーの  アイコンからアクセスします。詳細に関しては、99 ページの「デルサポートユーティリティ」を参照してください。

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- コンピュータと部品に関する情報を検索する方法
- インターネットに接続する方法
- ユーザーアカウントを追加する方法
- 別のコンピュータにあるファイルと設定を転送する方法

Windows ウェルカムセンター

Windows ウェルカムセンターは、最初のコンピュータの使用時に自動的に表示されます。それをコンピュータの起動時に毎回表示させたい場合には、起動時に実行しますチェックボックスにチェックを入れます。また Windows Vista で  スタートボタンをクリックし、ウェルカムセンターをクリックして、ウェルカムセンターにアクセスするという方法もあります。


- Microsoft Windows XP または Windows Vista™ の使い方
- プログラムとファイルの操作方法
- デスクトップのカスタマイズ方法

Windows ヘルプとサポート

Microsoft Windows XP:

- 1 スタートボタンをクリックして、ヘルプとサポートをクリックします。
- 2 リストに示されるトピックのいずれかを選択するか、または問題に関連する用語やフレーズを検索ボックスに入力して、矢印アイコンをクリックし、問題を示すトピックをクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

Microsoft Windows Vista:

- 1 Windows Vista のスタート  ボタンをクリックして、ヘルプとサポートをクリックします。
- 2 ヘルプの検索で、問題に関連する用語やフレーズを入力して、<Enter> を押すか、または拡大鏡をクリックします。
- 3 問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面の指示に従います。

何をお探しですか？

こちらをご覧ください

- オペレーティングシステムの再インストール方法 **オペレーティングシステムメディア**

オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールする場合は、『オペレーティングシステムメディア』を使用します。111 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照してください。



オペレーティングシステムを再インストールした後、『Drivers and Utilities』メディアを使用して、コンピュータに付属しているデバイス用のドライバを再インストールします。

オペレーティングシステムの Product Key (プロダクトキー) ラベルは、コンピュータに貼付されています。

メモ： CD の色はご注文になったオペレーティングシステムによって異なります。

コンピュータについて

正面図



- 1 左アレイマイク (カメラ付きはオ
プション)
2 カメラ (オプション)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 3 右アレイマイク (カメラ付きはオ | 4 ディスプレイ
プション) |
| 5 メディアコントロールボタン | 6 キーボードステータスライト |
| 7 キーボード | 8 指紋リーダー |
| 9 タッチパッド | 10 タッチパッドボタン |
| 11 スピーカー | 12 デバイスステータスライト |
| 13 電源ボタン | |

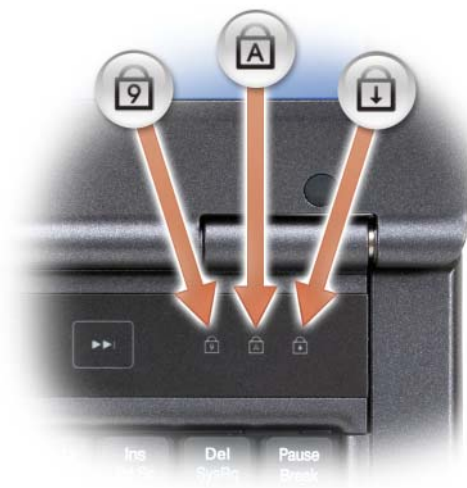
マイク —ビルトインマイクにより、外部マイクに接続することなく通信ができます。

カメラ —ビルトインカメラは 2.0 メガピクセルの CMOS ウェブカメラを備えています。


ディスプレイ —ディスプレイの詳細については、41 ページの「ディスプレイの使い方」を参照してください。


メディアコントロールボタン —ボリュームを調整するには、これらのボタンを押します。光量が少ない環境でキーボードを照らすときには、<Fn> キーと右矢印キーを押して、これらのライトのオンとオフの切り替えを行います。


キーボードステータスライト



キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです：

 テンキーパッドが有効になると点灯します。

 英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。

 Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

キーボード — キーボードには、テンキーパッドや Windows ロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの状態については、38 ページの「キーの組み合わせ」を参照してください。

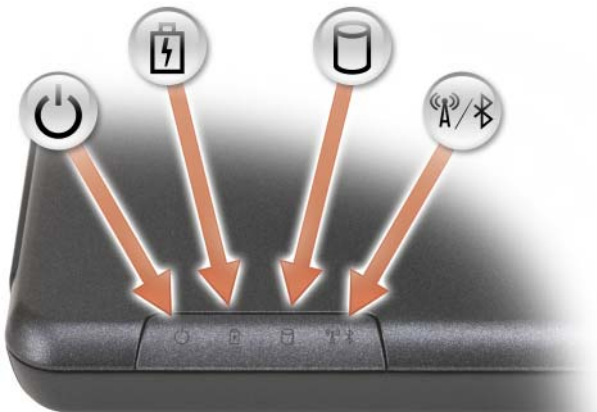
指紋リーダー（オプション） — Dell™ コンピュータのセキュリティ保護に使用します。指紋リーダーの上で指をスライドさせると、ユーザー固有の指紋を使用して身元確認が行われます。指紋リーダーの詳細に関しては、68 ページの「指紋リーダー（オプション）」を参照してください。







タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます（39 ページの「タッチパッド」を参照）。


タッチパッドボタン — タッチパッドを使ってディスプレイ上でカーソルを動かすときに、これらのボタンはマウスのボタンと同じように使用できます（39 ページの「タッチパッド」を参照）。


スピーカー — 内蔵スピーカーのボリュームを調節するには、ボリュームコントロールボタン、ミュートボタン、またはボリューム調節のショートカットキーを押します（38 ページの「キーの組み合わせ」を参照）。

デバイスステータスライト




-  コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。
-  常時点灯、または点滅してバッテリーの充電状態を示します。
-  コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
 -  **注意：**データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
-  Bluetooth® ワイヤレステクノロジーが有効になっている場合に点灯します。

メモ：Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、お使いのコンピュータのオプション機能です。コンピュータに Bluetooth ワイヤレステクノロジーが搭載されている場合にのみ、 アイコンが有効になります。詳細に関しては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーに付属のマニュアルを参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、ライト  は次のように動作します：

- 青色の点灯：バッテリー充電完了。
- 黄色の点滅：バッテリーの充電中。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、ライト  は次のように動作します：

- 青色の点灯：バッテリー充電完了。
- 黄色の点灯：バッテリーの充電残量が低下しています。

電源ボタン — コンピュータに電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します（32 ページの「省電力モード」を参照）。

-  **注意：**データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

左側面図



- | | | | |
|---|-------------------|---|----------------------------------|
| 1 | USB コネクタ (2) | 2 | オプティカルドライブ |
| 3 | 取り出しボタン | 4 | 54mm ExpressCard スロット
(ワイヤレス) |
| 5 | 3-in-1 メモリカードリーダー | | |

USB コネクタ — コンピュータとアドオンデバイス（オーディオプレーヤー、ジョイスティック、キーボード、電話、スキャナ、プリンタなど）を接続します。

オプティカルドライブ — フロッピードライブ、オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、セカンドハードドライブ、または Dell TravelLite™ モジュールをサポートします（47 ページの「マルチメディアの使い方」を参照）。

取り出しボタン — オプティカルドライブ内のメディアを取り出します。

EXPRESSCARD スロット — 1 枚の ExpressCard (PCMCIA アダプタ付き) をサポートします。カードが取り付けられていないときに異物がコンピュータ内部に入り込まないようにするために、コンピュータのスロットにはダミーカードが取り付けられています（61 ページの「ExpressCard」を参照）。

3-IN-1 メモリカードリーダー — 3-in-1 カードリーダー 以下のカードのタイプをサポートします。SD、MMC、MS、MS Pro、MS Duo、SDHC。

右側面図





- | | | | |
|---|----------------|---|---------------|
| 1 | USB コネクタ | 2 | オーディオコネクタ |
| 3 | 通気孔 | 4 | ビデオコネクタ (VGA) |
| 5 | セキュリティケーブルスロット | | |

USB コネクタ — コンピュータとアドオンデバイス（オーディオプレーヤー、ジョイスティック、キーボード、電話、スキャナ、プリンタなど）を接続します。

オーディオコネクタ



 のコネクタにはヘッドフォンを取り付けます。

 のコネクタにはマイクを取り付けます。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

⚠ 警告： 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境に Dell コンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

ビデオコネクタ

モニターなどのビデオデバイスを接続します。



セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます(65 ページの「セキュリティケーブルロック」を参照)。

背面図



- 1 AC アダプタコネクタ
- 2 モデムコネクタ (RJ-11)
- 3 ネットワークコネクタ (RJ-45)

AC アダプタコネクタ

AC アダプタをコンピュータに接続します。





AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

⚠ 警告： AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

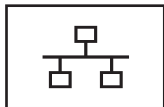
➡ 注意： AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの角度に従ってください。

モデムコネクタ（RJ-11）



モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。

ネットワークコネクタ (RJ-45)



コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 個のライトは、ワイヤネットワーク接続のステータスと活動状況を示します。

ネットワークアダプタの使い方については、コンピュータに付属しているデバイスのユーザーズガイドを参照してください。

- ➡ **注意：** ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きいです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。


底面図



- | | | | |
|---|-------|---|--|
| 1 | 通気孔 | 2 | オプションの Bluetooth® ワイヤレステクノロジー内蔵カードのカバー |
| 3 | バッテリー | 4 | バッテリーベイリリースラッチ(2) |

オプションの BLUETOOTH® ワイヤレステクノロジー内蔵カードのカバー — 詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効または無効にするには、<Fn><F2> を押します。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、ファン通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。


 **警告**：通気孔を塞いだり、物押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます（29 ページの「バッテリーの使い方」を参照）。


バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを交換します（34 ページの「バッテリーの取り外し」を参照）。

バッテリーの使い方


バッテリーの性能


 **メモ:** デルの保証情報に関しては、『製品情報ガイド』か、またはコンピュータに付属している文書を参照してください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリーを搭載した状態でお使いください。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

 **メモ:** バッテリーはフル充電されていない場合がありますので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。最良の結果を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリー充電ステータスを表示するには、電源オプションの電源メーターをチェックします (33 ページの「電源オプションのプロパティにアクセスする方法」を参照)。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。

 **メモ:** バッテリー駆動時間 (バッテリーの充電が保持されている時間) は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。


 **メモ:** CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。


次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、他の方法でも短くなる場合もあります：


- オプティカルドライブを使用している場合。
- ワイヤレスの通信デバイス、PC カード、ExpressCard、メディアメモリカード、または USB デバイスを使用している場合。
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または複雑な 3D グラフィックスアプリケーションなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合。

- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合、電力の管理を設定する際に使用する Windows の電源オプションのプロパティにアクセスする方法に関しては、33 ページの「電源管理の設定」を参照してください。


コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電力の管理オプションを設定することもできます。

 **警告：**適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものでお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。



 **警告：**バッテリーを家庭用のごみと一緒に廃棄しないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（個人のお客様：044-556-4298、企業のお客様：044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。

 **警告：**バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 °C を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Microsoft Windows の電源メーター ウィンドウと  アイコン、バッテリー充電量ゲージ、機能ゲージ、およびバッテリー低下アラームによって、バッテリー充電量に関する情報が表示されます。

Microsoft® Windows® 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。コンピュータがコンセントに接続されている場合  アイコンが表示されます。

バッテリーの低下を知らせる警告



注意：データの損失およびデータ破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの充電残量が完全なくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリーを 2 つ取り付けている場合は、バッテリーの低下を知らせる警告は、両方のバッテリーを合わせた充電残量が 90 % 消費されたことを意味します。バッテリーの充電残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリーアラームの設定は、**電源オプションのプロパティ**ウィンドウで変更できます。**電源オプションのプロパティ**ウィンドウにアクセスする方法に関しては、33 ページの「電源管理の設定」を参照してください。

バッテリー電源の節約

バッテリー電源を節約するには次の手順を実行してください：

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なってきますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにしてください（32 ページの「省電力モード」を参照）。
- **電源オプションのプロパティ**ウィンドウを使用して、コンピュータの電力消費をカスタマイズするオプションを選択してください。電源ボタンを押してディスプレイを閉じるか、または <Fn><Esc> を押しと、これらのオプションの設定を変更することができます。




メモ：バッテリー電力を節約する方法に関する詳細は、33 ページの「電源管理の設定」を参照してください。


省電力モード

スタンバイモードとスリープモード

スタンバイモード (Microsoft Windows Vista™ の場合はスリープモード) は、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおく (タイムアウト)、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードまたはスリープモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードまたはスリープモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意:** スタンバイモードまたはスリープモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードに入るには、**スタート ボタン**をクリックし、**シャットダウン**をクリックして、**スタンバイ**をクリックします。

Windows Vista でスリープモードに入るには、 **スタート ボタン**をクリックし、**スリープ**をクリックします。


電源オプションのプロパティ ウィンドウで設定した電源管理オプションに従い、次の方法のいずれかを実行します：

- 電源ボタンを押します。
- ディスプレイを閉じます。
- <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードまたはスリープモードから通常の動作状態に戻るには、電源管理オプションの設定に応じて電源ボタンを押すか、ディスプレイを開きます。キーを押してもコンピュータはスタンバイモードまたはスリープモードから復帰しません。


休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意:** お使いのコンピュータが休止状態モードに入っている場合、コンピュータからデバイスまたはドッキングデバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

Windows XP で手動で休止状態モードに入るには、**スタート ボタン**をクリックし、**シャットダウン**をクリックし、**<Shift>**を押したまま **休止状態**をクリックします。

Windows Vista で手動で休止状態モードに入るには、 **スタート ボタン**をクリックし、**休止状態**をクリックします。

電源オプションのプロパティ ウィンドウで設定した**電源管理オプション**に従い、次の方法のいずれかを実行して休止状態モードに入ります：

- 電源ボタンを押します。
- ディスプレイを閉じます。
- **<Fn><F1>**を押します。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源管理の設定


Windows 電源オプションのプロパティを使用して、お使いのコンピュータの電力管理の設定を行うことができます。

電源オプションのプロパティにアクセスする方法

Windows XP


スタート ボタンをクリックし、**コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス**をポイントし、**電源オプション**をクリックします。


Windows Vista

スタート  **ボタン**をクリックし、**コントロールパネル**をクリックし、**システムとメンテナンス**をクリックし、**電源オプション**をクリックします。

バッテリーの充電


コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、ACアダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。


 **メモ：**バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。


 のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を続けます。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、92 ページの「電源の問題」を参照してください。

バッテリーの取り外し

 **警告：**適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーは、お使いの Dell™ コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

 **警告：**この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、ACアダプタを電源コンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

 **注意：**コネクタへの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから外してください。

バッテリーを取り外すには、次の手順を実行します：

- 1 コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- 2 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- 3 コンピュータ底部のバッテリーベイラッチをスライドさせてリリースします。



- 4 コンピュータの側に最も近い位置にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。



- 5 バッテリーを取り付けるには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

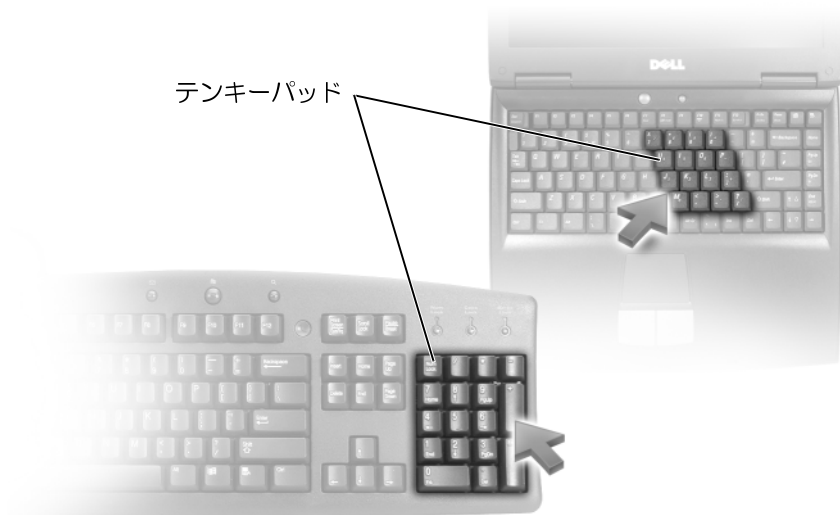
バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電して(34 ページの「バッテリーの充電」を参照)からお使いください。

4

キーボードの使い方

テンキーパッド



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、<Fn> を押したまま、ご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。🔦 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	タスクマネージャ ウィンドウを開きます。
--------------------	----------------------

電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。電源オプションのプロパティ ウィンドウの詳細設定 タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます (33 ページの「電源オプションのプロパティにアクセスする方法」を参照)。
-----------	---

スピーカー関連

<Fn><Page Up>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) の音量を上げます。
<Fn><Page Dn>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) の音量を下げます。
<Fn><End>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー (接続されている場合) を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ログキー関連

Windows ログキーと <m>	すべてのウィンドウを最小化します。
Windows ログキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせは、Windows ログキーと <m> キーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ログキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。

Windows ロゴキーと <r>	ファイルを指定して実行 ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	検索結果 ダイアログボックスを開きません。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	検索結果—コンピュータ ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	システムのプロパティ ダイアログボックスを開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いてプリンタとその他のハードウェア をクリックし、キーボード をクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、スタート → ヘルプとサポート をクリックします。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



- 1 タッチパッド
- 2 スクロールの可能範囲を示すシルクスクリーン印刷

カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドさせます。

- オブジェクトを選択するには、選択したいオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを動かしてタッチパッドを 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ


マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり、設定を調整できます。

- 1 コントロールパネルをクリックして、マウスをクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート → ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 マウスのプロパティ ウィンドウで、以下の手順を実行します：
 - **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックを無効にします。
 - **タッチパッド** タブをクリックして、タッチパッドおよびトラックスティックの設定を調節します。
- 3 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

ディスプレイの使い方

輝度の調節

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、モニターの輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

 **メモ：**輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。ノートブックコンピュータまたはドッキングデバイスに取り付けられているモニターまたはプロジェクタには影響はありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとする、輝度メーターは表示されることがありますが、外付けデバイスの輝度レベルは変更されません。

次のキーを押すと、ディスプレイの輝度を調節できます：


- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

プロジェクタの使い方


外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

イメージやテキストをより大きくまたはよりシャープにする

 **メモ**：画面解像度を現在の設定から変更する場合、お使いのコンピュータやディスプレイでサポートしていない設定に解像度を変更すると、イメージがぼやけたり、テキストが読みにくくなる場合があります。ディスプレイ設定を変更する前に、必要な場合に元の設定に戻すことができるように現在の設定を控えておいてください。

画面解像度を調整して、画面上のテキストを読みやすくしたり、イメージの表示を変更することが可能です。解像度を上げると、画面上のアイテムの表示が小さくなります。逆に、解像度を低くすると、テキストやイメージの表示が大きくなるので、視力に障害を持つ方には有用です。特定の解像度でプログラムを表示するには、ビデオカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。


 **メモ**：プリインストールされているビデオドライバは、お使いのコンピュータの性能を最大限に活用できるよう設計されています。

画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調整されます。


ディスプレイ解像度とリフレッシュレートを設定するには、使用中のコンピュータのオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

Microsoft® Windows® XP


- 1 スタート → 設定 → コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 3 作業を選びます で、変更したい領域をクリックするか、またはコントロールパネルを選んで実行します で、画面 をクリックします。
- 4 画面のプロパティ ウィンドウで 設定 タブをクリックします。
- 5 画面の色 および 画面の解像度 を別の設定にしてみます。

 **メモ**：解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

Windows Vista™

- 1 Windows Vista の スタート  ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 デスクトップのカスタマイズ で、画面の解像度の調整 をクリックします。
- 3 画面の設定 ウィンドウの 解像度 で、スライダーを左または右にスライドして、画面解像度を上げるか、または下げます。
- 4 詳細については、最適な表示を得るための詳細を表示します。 をクリックします。

ビデオ解像度の設定が画面のサポートする範囲よりも高い場合、コンピュータはパンモードに入ります。パンモードでは、画面全体を一度に表示できないため、たとえば通常デスクトップの下に表示されているタスクバーが見えないことがあります。見えないビデオイメージの部分を表示するには、タッチパッドまたはトラックスティックを使用して、イメージを上下左右に「パン」します（動かします）。

 **注意：** 外付けモニターでサポートされていないリフレッシュレートを使用すると、モニターに損傷を与える恐れがあります。外付けモニターのリフレッシュレートを調整する前に、モニターのユーザーズガイドを参照してください。

モニターとコンピュータディスプレイの両方を使用する

外付けモニターやプロジェクタをコンピュータに取り付けたり、お使いのディスプレイの拡張として使用できます（「デュアルディスプレイ」または「拡張デスクトップ」モードとも呼ばれます）。このモードでは、両方の画面を独立して使用することができ、1つの画面からもう一方の画面へオブジェクトをドラッグできます。視覚作業スペースが事実上二倍になります。拡張デスクトップモードを使用するには、使用中のコンピュータのオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

Microsoft® Windows® XP

- 1 外付けモニター、TV、またはプロジェクタをコンピュータに接続します。
- 2 スタート → 設定 → コントロールパネル をクリックします。
- 3 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 4 作業を選びます で、変更したい領域をクリックするか、またはコントロールパネルを選んで実行します で、画面 をクリックします。
- 5 画面のプロパティ ウィンドウで 設定 タブをクリックします。



メモ：画面のサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、選択した設定に最も近いものに自動的に調整されます。詳細については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。


- 6 モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップ**をこのモニタ上で移動できるようにする チェックボックスをクリックして 適用 をクリックします。
- 7 両方の画面を適切なサイズにするために、画像の領域 を変更して、適用 をクリックします。
- 8 コンピュータを再起動するよう指示された場合、再起動せずに新しい表示設定を適用する をクリックし、**OK** をクリックします。
- 9 必要に応じて、**OK** をクリックし、デスクトップのサイズを変更します。
- 10 必要に応じて、はい をクリックし、設定を保存します。
- 11 **OK** をクリックして、画面のプロパティ ウィンドウを閉じます。

デュアルディスプレイモードを無効にするには、以下の手順を実行します：

- 1 画面のプロパティ ウィンドウの 設定 タブをクリックします。
- 2 モニタ 2 のアイコンをクリックし、**Windows デスクトップ**をこのモニタ上で移動できるようにする オプションのチェックを外して 適用 をクリックします。

必要に応じて <Fn><F8> を押し、コンピュータの元の画面に戻します。

Windows Vista™

- 1 Windows Vista の スタート  ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 デスクトップのカスタマイズ で、画面の解像度の調整 をクリックします。
- 3 画面の設定 ウィンドウで、モニタ 2 アイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする**チェックボックスをクリックして適用をクリックします。
- 4 **OK** をクリックして、画面の設定 ウィンドウを閉じます。

拡張デスクトップモードを無効にするには、次の手順を実行します。

- 1 画面の設定 ウィンドウで **設定** タブをクリックします。
- 2 モニタ 2 のアイコンをクリックし、**Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする** オプションのチェックを外して **適用** をクリックします。

モニターをプライマリディスプレイとして使用する


プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの指定を入れ替えるには（たとえば、外付けモニターをドッキングした後にプライマリディスプレイとして使用する場合）、使用中のコンピュータのオペレーティングシステムに対応する次の項の手順を実行します。

Microsoft® Windows® XP

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 3 作業を選びます で、変更したい領域をクリックするか、またはコントロールパネルを選んで実行します で、画面 をクリックします。
- 4 設定 タブ → 詳細設定 → ディスプレイ タブをクリックします。

詳細に関しては、お使いのビデオカードに付属のマニュアルを参照してください。

Windows Vista™

- 1 Windows Vista の スタート  ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 デスクトップのカスタマイズ で、画面の解像度の調整 をクリックします。
- 3 画面の設定 ウィンドウで、モニタ 2 アイコンをクリックし、このモニタをメインにする チェックボックスをクリックして 適用 をクリックします。
- 4 **OK** をクリックして、画面の設定 ウィンドウを閉じます。

マルチメディアの使い方

CD または DVD の再生


- ➡ 注意：CD / DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。
- ➡ 注意：CD または DVD を再生している場合、コンピュータを動かさないでください。
 - 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
 - 2 トレイを引き出します。











- 3 トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。
- ✍️ **メモ：**別のコンピュータに付属しているモジュールをお使いの場合、DVDの再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細に関しては、『Drivers and Utilities CD』を参照してください（『Drivers and Utilities CD』はオプションであり、お使いのコンピュータや国によって利用できない場合があります）。

4 トレイをドライブに押し戻します。












データを保存するために CD をフォーマットしたり、音楽 CD を作成したり、CD をコピーしたりするには、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

 **メモ：** CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

CD プレーヤーには以下の基本的なボタンがあります：


	再生
	現在のトラック内での巻き戻し
	一時停止
	現在のトラック内での早送り
	停止
	直前のトラックへ戻る
	取り出し
	直後のトラックへ進む

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します：


	停止
	鑑賞中の章を再スタート
	再生
	早送り
	一時停止
	巻き戻し
	一時停止モードでのコマ送り
	次の章へ進む
	鑑賞中の章を続けて再生する
	前の章へ戻る
	取り出し

CD や DVD の再生の詳細に関しては、CD や DVD プレーヤーのヘルプをクリックします（ヘルプがある場合）。

CD および DVD のコピー

 メモ：CD または DVD を作成する際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD±RW、または CD-RW/DVD（コンボ）ドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。


 メモ：Dell により提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、Roxio Creator Plus - Dell Edition を使って、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。お使いのコンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、他の目的にも Roxio Creator Plus を使用することができます。ヘルプを参照するには、Roxio Creator Plus を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピー方法

 メモ：CD-RW/DVD コンボドライブでは DVD メディアへの書き込みはできません。CD-RW/DVD コンボドライブを使用していて、書き込みの際に問題が発生した場合は、www.sonicjapan.co.jp/support の Sonic サポートウェブサイトで利用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD±R、DVD±RW および DVD+R DL（デュアルレイヤ）メディアに対して読取りと書き込みを行います。DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書き込みは行わず、読取りも行わない可能性があります。

 メモ：市販の DVD の大部分は著作権のプロテクトがかかっており、Roxio Creator Plus を使用してコピーすることはできません。

- 1 Roxio Creator Plus を開きます。
- 2 コピータブでディスクコピーをクリックします。
- 3 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
 - CD/DVD ドライブが 1 台の場合は、設定が正しいことを確認して、ディスクコピーをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリーフォルダにそのデータをコピーします。
プロンプトが表示されたら、ドライブに空の CD または DVD ディスクを挿入して、**OK** をクリックします。

- CDまたはDVDドライブが2台ある場合は、ソースのCDやDVDを挿入したドライブを選択して、ディスクコピーをクリックします。コンピュータがソースCDまたはDVDのデータを空のCDまたはDVDにコピーします。

ソースCDまたはDVDのコピーが終了すると、作成されたCDまたはDVDは自動的に出てきます。

空のCDおよびDVDの使い方

DVD書き込み可能ドライブは、CD記録メディアとDVD記録メディアの両方に書き込むことができますが、CD-RWドライブはCD記録メディアのみ（高速CD-RWメディアを含む）に書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空のCD-Rを使用してください。CD-Rの最大記憶容量に達した後は、CD-Rに再度書き込みはできません（詳細に関してはSonicのマニュアルを参照）。後でCDにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空のCD-RWを使用してください。

空のDVD±Rは、大量のデータを永久保存することができます。DVD±Rディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空のDVD±RWを使用してください。

CD書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD書き込み可能ドライブ


メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

役に立つヒント

- Roxio Creator Plus を開始し、Creator プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用します。CD-RW は多くの家庭用ステレオおよびカーステレオで再生できない場合があります。
- Roxio Creator Plus を使用して、音楽 DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、すべての DVD フォーマットをサポートするとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で空の CD の 1 ~ 2 MB を必要とします。
- CD の記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 追加情報については、**www.sonic.com** の Sonic ウェブサイトを参照してください。

音量の調節

 メモ：スピーカーが無音（ミュート）に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

- 1 スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→エンターテイメント→ボリュームコントロール を選択します。
- 2 ボリュームコントロール 列のバーをクリックしてドラッグし、上下に移動して音量を調節します。

ボリュームコントロールのオプションの詳細に関しては、ボリュームコントロールウィンドウのヘルプ をクリックしてください。


画面の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

Microsoft Windows XP

- 1 スタート→コントロールパネル→デスクトップの表示とテーマをクリックします。
- 2 作業を選びます で、画面解像度を変更する をクリックします。
- 3 画面の解像度 で、バーをクリックし、ドラッグして解像度の設定を下げます。
- 4 画面の色 のドロップダウンメニューで、中（16 ビット）をクリックし、OK をクリックします。

Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシステム

- 1  スタートボタンをクリックし、コントロールパネルをクリックして、デスクトップのカスタマイズをクリックします。
- 2 個人設定 で、画面の解像度の調整 をクリックします。
画面のプロパティ ウィンドウが表示されます。
- 3 解像度 で、次の手順を実行します。バーをクリックし、ドラッグして解像度の設定を下げます。
- 4 画面の色 のドロップダウンメニューで、中（16 ビット）をクリックします。
- 5 OK をクリックします。

ネットワークのセットアップと使い方

コンピュータネットワークを設定すると、お使いのコンピュータをインターネット、他のコンピュータあるいはネットワークへ接続できます。たとえば、家庭または小規模オフィスで設定されたネットワークを通して共有プリンタへのプリンタ出力、他のコンピュータのドライブやファイルへのアクセス、他のネットワークの検索、またはインターネットへのアクセスなどができます。ネットワークケーブルまたはブロードバンドモデムケーブルを使用して、ローカルエリアネットワーク（LAN）またはワイヤレスLAN（WLAN）を設定することができます。

Microsoft Windows[®] XP と Microsoft Windows Vista[™] のオペレーティングシステムでは、コンピュータをネットワークに接続する手順を示すウィザードが用意されています。ネットワークの詳細に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください（16 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照）。

ネットワークまたはブロードバンドモデムの接続


コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていて、ネットワークケーブルが接続されている必要があります。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面にあるネットワークアダプタコネクタに接続します。



メモ：ケーブルコネクタをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルがしっかり取り付けられていることを確認します。


- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、ネットワーク接続デバイスまたは壁のネットワークコネクタに接続します。

 **メモ:** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。




Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムにおけるネットワークのセットアップ

- 1 スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → 通信 → ネットワークセットアップウィザード → 次へ → ネットワーク作成のチェックリスト をクリックします。

 **メモ:** インターネットに直接接続していると表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2 (SP2) で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

- 2 チェックリストを完了します。
- 3 ネットワークセットアップウィザードに戻り、ウィザードの指示に従います。

Microsoft Windows Vista™ オペレーティングシステムにおけるネットワークのセットアップ

- 1 Windows Vista のスタート  ボタンをクリックして、接続先 → 接続またはネットワークのセットアップをクリックします。
- 2 接続オプションを選択しますでオプションを選択します。
- 3 次へをクリックして、ウィザードに表示される指示に従います。

ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)

ワイヤレス LAN は、各コンピュータに接続されたネットワークケーブルを介さずに電波を介して相互に通信する、相互接続された一連のコンピュータです。ワイヤレス LAN では、アクセスポイントまたはワイヤレスルーターと呼ばれる無線通信デバイスがネットワークコンピュータ間を接続し、インターネットやネットワークへのアクセスを提供します。アクセスポイントまたはワイヤレスルーターとコンピュータ内のワイヤレスネットワークカードは、電波を介して各自のアンテナからデータをブロードキャストして通信します。

ワイヤレス LAN 接続の設定に必要なもの

ワイヤレス LAN をセットアップするには、次のものがが必要です：

- 高速 (ブロードバンド) インターネットアクセス (ケーブルまたは DSL など)
- 接続済みで作動中のブロードバンドモデム
- ワイヤレスルーターまたはアクセスポイント
- ワイヤレスネットワークカード (ワイヤレス LAN に接続する各コンピュータに必要)
- ネットワーク (RJ-45) コネクタ付きネットワークケーブル


お使いのワイヤレスネットワークカードの確認

コンピュータの構成は、コンピュータ購入時の選択に応じて異なります。お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがあるかどうかを確認し、カードのタイプを調べるには、次のいずれかを使用します：

- スタート ボタンと 接続 オプション
- コンピュータの注文確認書

スタートボタンと接続オプション

Microsoft Windows XP の場合、スタート → 接続 → すべての接続の表示 をクリックします。

 **メモ：**お使いのコンピュータがクラシックスタートメニューオプションに設定されている場合、スタート → 設定 → ネットワーク接続 をクリックして、ネットワーク接続を表示できます。


Microsoft Windows Vista の場合、 → 接続先 → ネットワーク上のコンピュータとデバイスを表示します をクリックします。

ワイヤレスネットワーク接続 が LAN または高速インターネット に表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

ワイヤレスネットワーク接続 が表示されていれば、ワイヤレスネットワークカードが取り付けられています。ワイヤレスネットワークカードの詳細を表示するには、次の手順を実行します：

- 1 ワイヤレスネットワーク接続を右クリックします。
- 2 プロパティ をクリックします。




ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ ウィンドウが表示されます。ワイヤレスネットワークカードの名前とモデル番号が全般 タブに表示されます。

 **メモ：**ワイヤレスネットワーク接続が表示されない場合は、お使いのコンピュータにワイヤレスネットワークカードがない可能性があります。

お使いのコンピュータの注文確認書



お使いのコンピュータの注文時に受け取られた注文確認書には、コンピュータに付属のハードウェアとソフトウェアが一覧表示されています。

ワイヤレスルーターとブロードバンドモデムを使用した新しい WLAN のセットアップ

- 1 インターネットサービスプロバイダ (ISP) に連絡して、お使いのブロードバンドモデムの接続要件に関する情報を入手します。
 - 2 ワイヤレスインターネット接続をセットアップする前に、ブロードバンドモデムを経由して有線でインターネットにアクセスできる状態にあることを確認してください (53 ページの「ネットワークまたはブロードバンドモデムの接続」を参照)。
 - 3 お使いのワイヤレスルーターに必要ないずれかのソフトウェアをインストールします。お使いのワイヤレスルーターには、インストール用の CD が付属している場合があります。インストール用の CD には、通常、インストールとトラブルシューティングの情報が含まれています。ルーター製造元から提供される手順に従って、必要なソフトウェアをインストールします。
 - 4 スタートまたは  メニューから、お使いのコンピュータと、周辺にあるワイヤレスが有効なその他すべてのコンピュータをシャットダウンします。
 - 5 ブロードバンドモデムの電源ケーブルをコンセントから外します。
 - 6 ネットワークケーブルをコンピュータとモデムから外します。
 - 7 AC アダプタケーブルをワイヤレスルーターから外し、ルーターに電源が接続されていないことを確認します。
-  **メモ:** ブロードバンドモデムを外した後、5 分以上待ってから、ネットワークのセットアップを続行します。
- 8 ネットワークケーブルを電源の入っていないブロードバンドモデムのネットワーク (RJ-45) コネクタに接続します。
 - 9 ネットワークケーブルのもう一方の端を、電源の入っていないワイヤレスルーターのインターネットネットワーク (RJ-45) コネクタに接続します。
 - 10 モデムとワイヤレスルーターを接続しているネットワークケーブル以外に、ブロードバンドモデムにネットワークケーブルまたは USB ケーブルが接続されていないことを確認します。
-  **メモ:** 接続エラーを防ぐため、以下に記載する順番でワイヤレス機器を再スタートさせます。
- 11 ブロードバンドモデムにのみ電源を入れて、ブロードバンドモデムが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 12 に進みます。


- 12 ワイヤレスルーターの電源を入れ、ワイヤレスルーターが安定するまで 2 分以上待ちます。2 分経ったら、手順 13 に進みます。
- 13 コンピュータを起動し、起動プロセスが完了するまで待ちます。
- 14 ワイヤレスルーターに付属のマニュアルを参照して次の操作を実行し、ワイヤレスルーターをセットアップします：
 - コンピュータとワイヤレスルーター間の通信を確立します。
 - ワイヤレスルーターをブロードバンドルーターと通信できるように設定します。
 - ワイヤレスルーターのブロードキャスト名を検索します。ルーターのブロードキャスト名の専門用語は、Service Set Identifier (SSID) またはネットワーク名です。
- 15 必要に応じて、ワイヤレスネットワークカードを設定し、ワイヤレスネットワークに接続します (58 ページの「WLAN への接続」を参照)。

WLAN への接続

-  メモ：ワイヤレス LAN に接続する前に、必ず 55 ページの「ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)」の手順に従ってください。
-  メモ：次のネットワークについての説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー内蔵カードまたは携帯製品には適用されません。

本項では、ワイヤレステクノロジーを使用したネットワークへの接続に関する一般的な手順について説明します。特定のネットワーク名や設定の詳細は異なります。お使いのコンピュータをワイヤレス LAN へ接続するための準備の詳細に関しては、55 ページの「ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク)」を参照してください。

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。

-  メモ：ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーマニュアルの手順に従ってください。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプを確認してから、デルサポートサイト support.jp.dell.com でカード名を検索します。お使いのコンピュータに取り付けられているワイヤレスネットワークカードのタイプに関しては、56 ページの「お使いのワイヤレスネットワークカードの確認」を参照してください。

ワイヤレスネットワークデバイスマネージャの確認

お使いのコンピュータにインストールされているソフトウェアによって、ネットワークデバイスを管理するワイヤレス設定ユーティリティが異なる場合があります：

- お使いのワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティ
- Windows XP または Windows Vista オペレーティングシステム


Windows XP の場合、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します：

- 1 スタート → 設定 → コントロールパネル → ネットワーク接続 をクリックします。
- 2 ワイヤレスネットワーク接続 アイコンを右クリックして、利用できるワイヤレスネットワークの表示 をクリックします。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで **Windows** ではこの接続を設定できませんというメッセージが表示されたら、ワイヤレスネットワークカードのクライアントユーティリティがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

ワイヤレスネットワークの選択 ウィンドウで範囲内にあるワイヤレスネットワークが下に一覧表示されています。ワイヤレスネットワークに接続またはその詳細情報を表示するには、項目をクリックしてください。というメッセージが表示されたら、Windows XP オペレーティングシステムがワイヤレスネットワークカードを管理しています。

Windows Vista の場合、ワイヤレスネットワークカードを管理するワイヤレス設定ユーティリティを確認するには、次の手順を実行します：

- 1  → 接続先 → ワイヤレスネットワークの管理 をクリックします。
- 2 プロファイルをダブルクリックして、ワイヤレスネットワークのプロパティ画面を開きます。

お使いのコンピュータにインストールされているワイヤレス設定ユーティリティの詳細情報に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターでお使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください(16 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照)。


ワイヤレス LAN への接続の完了


コンピュータの電源投入時にその地域で(コンピュータに設定のない)ネットワークが検出されると、通知領域 (Windows デスクトップの右下隅) にあるネットワークアイコン付近にポップアップが表示されます。

画面に表示されるユーティリティのプロンプトの手順に従ってください。

選択したワイヤレスネットワークをコンピュータに設定すると、もう一度ポップアップが表示され、コンピュータがそのネットワークに接続されたことが通知されます。

これ以降は、選択したワイヤレスネットワークの範囲内でコンピュータにログオンすると、同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワークで接続されていることが通知されます。


 **メモ:** セキュアネットワークを選択した場合、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のもので、デルではこの情報をお知らせすることができません。

 **メモ:** コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

Microsoft® Windows® ファイアウォール

Windows ファイアウォールは、インターネットに接続中のコンピュータへの不正なアクセスに対する基本的な保護を提供します。Windows ファイアウォールはネットワークセットアップウィザードを実行するときに自動的に有効になります。

ネットワーク接続に Windows ファイアウォールが有効になると、コントロールパネルのネットワーク接続に赤い背景のあるファイアウォールアイコンが表示されます。

 **メモ:** Windows ファイアウォールを有効にしても、ウィルスチェックソフトウェアは必要です。

詳細に関しては、**スタート** → **コントロールパネル** → **セキュリティ** → **Windows ファイアウォール** をクリックするか、または 16 ページの「Windows ヘルプとサポート」を参照してください。

カードの使い方


ExpressCard

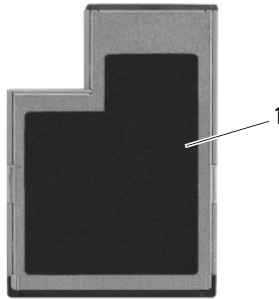
ExpressCard は、追加のメモリ、有線およびワイヤレス通信、マルチメディアとセキュリティ機能を提供します。ExpressCard は 2 種類の形状をサポートしています：

- ExpressCard/54（34 mm コネクタ付属の L 字型で 54 mm 幅）

54 mm カードのみが 54 mm カードスロットに収まります。

サポートされている ExpressCard に関しては、131 ページの「仕様」を参照してください。

 **メモ**：ExpressCard は起動可能なデバイスではありません。



1 ExpressCard/54

ExpressCard のダミーカード

お使いのコンピュータには、ExpressCard スロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに ExpressCard を取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ExpressCard を取り付ける前にダミーカードを取り外します。ダミーカードを取り外すには、63 ページの「ExpressCard、またはダミーカードの取り外し」を参照してください。

ExpressCard の取り付け

コンピュータの実行中に ExpressCard を取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、ExpressCard は、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれているか、ラベルが付いています。カードは一方にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ExpressCard を取り付けるには次の手順を実行します：

- 1 カードの表を上にして持ちます。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



1 スロット

2 ExpressCard

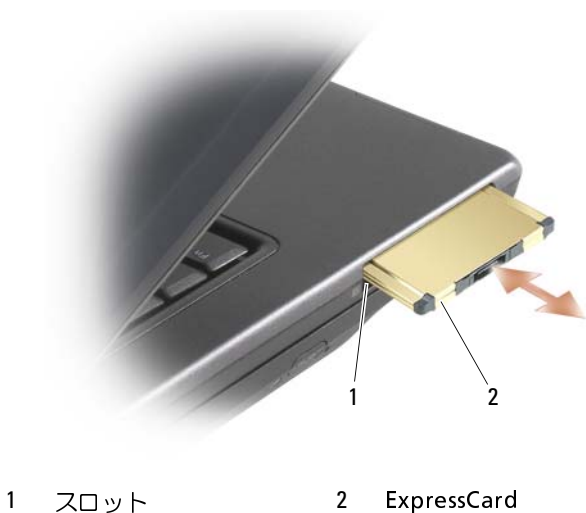
コンピュータはほとんどの ExpressCard を認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、ExpressCard 付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

ExpressCard、またはダミーカードの取り外し

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


リリースラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。リリースラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

スロットに ExpressCard を取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。




コンピュータのセキュリティ保護

セキュリティケーブルロック

 **メモ**：お使いのコンピュータには、セキュリティケーブルロックは付属していません。

セキュリティケーブルロックは、市販の盗難防止用品です。ロックを使用するには、Dell™ コンピュータのセキュリティケーブルスロットにロックを取り付けます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

 **注意**：盗難防止デバイスを購入する前に、お使いのコンピュータのセキュリティケーブルスロットに対応するか確認してください。



パスワード

パスワードについて



メモ：ご購入時には、パスワードは設定されていません。

プライマリ（またはシステム）パスワードと管理者パスワードは、異なる方法によりコンピュータへの不正アクセスを防止します。以下の表に、お使いのコンピュータで利用可能なパスワードの種類と機能について示します。

パスワードの種類	機能
プライマリ（またはシステム）	• 使用を認証されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護します。
システム管理者	• コンピュータを修理または再設定するシステム管理者または技術者がアクセスします。 • プライマリパスワードによってコンピュータへのアクセスを制限できるのと同様に、セットアップユーティリティへのアクセスも制限できます。 • プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。



メモ：ハードドライブの中には、ハードドライブパスワードをサポートしていないものもあります。



注意：パスワードは、コンピュータやハードドライブのデータに対して高度なセキュリティ機能を提供します。ただし、この機能だけでは万全ではありません。データのセキュリティをより確実なものにするために、スマートカード、データ暗号化プログラム、または暗号化機能の付いた PC カードなどを使って、ユーザー自身が保護設定を追加する必要があります。

パスワードの使用に際して、次のガイドラインに注意してください：

- 覚えやすく推測されにくいパスワードを選びます。例えば、家族やペットの名前をパスワードに使用しないようにします。
- パスワードは覚え書きしないことをお勧めします。覚え書きする場合は、必ずパスワードを安全な場所に保管してください。
- パスワードを他人と共有しないようにします。
- パスワードの入力を他人に見られないようにします。


いずれかのパスワードを忘れてしまった場合は、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。その際、使用を許可されていないユーザーによる不正使用を防ぐため、デルのテクニカルサポート担当者はお客様がコンピュータの所有者であるかどうかを確認します。

プライマリ（またはシステム）パスワードの使い方

プライマリパスワードは、使用を許可されていないユーザーのアクセスからコンピュータを保護するために使用します。

コンピュータを初めてスタートさせた際、プロンプトでプライマリパスワードを割り当てる必要があります。

2分以内にパスワードを入力しないと、自動的に直前の状態に戻ります。

 **注意：**システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

パスワードを追加または変更する場合、コントロールパネルからユーザーアカウントにアクセスします。

システム管理者パスワードが設定されている場合は、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。通常、コンピュータ画面でシステム管理者パスワードの入力は必要ありません。

システム管理者パスワードの使い方


システム管理者パスワードは、コンピュータを修理または再設定するシステム管理者またはサービス技術者のためのものです。システム管理者または技術者は、同じシステム管理者パスワードをコンピュータのグループに割り当て、固有のシステムパスワードを割り当てることができます。


管理者パスワードを設定または変更する場合、コントロールパネルからユーザーアカウントにアクセスします。

管理者パスワードを設定した場合、**Configure Setup**（セットアップの設定）オプションがセットアップユーティリティで利用可能になります。

Configure Setup（セットアップの設定）オプションにより、プライマリパスワードがコンピュータへのアクセスを制限するのと同じように、セットアップユーティリティへのアクセスを制限できます。

システム管理者パスワードは、プライマリパスワードの代わりに使用することもできます。プライマリパスワードの入力を求められた場合、常にシステム管理者パスワードで代用できます。

 **注意：**システム管理者パスワードを無効にすると、同時にプライマリパスワードも無効になります。

 **メモ：**システム管理者パスワードを使ってコンピュータへのアクセスはできますが、ハードドライブパスワードが設定されている場合、ハードドライブへのアクセスはできません。

システム管理者パスワードを設定せずに、プライマリパスワードを忘れてしまった場合、または両方のパスワードを設定し、どちらも忘れてしまった場合は、システム管理者に尋ねるか、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。このソフトウェアはオプションで、Dell™ コンピュータの注文時に購入するか、このセキュリティ機能に関して、デルの営業担当者にお問い合わせください。



メモ：コンピュータ追跡ソフトウェアは、すべての国で使用できるとは限りません。



メモ：コンピュータ追跡ソフトウェアを備えたコンピュータが紛失したり盗難に遭った場合は、追跡サービスを提供する会社にコンピュータの紛失を届け出てください。

指紋リーダー（オプション）

コンピュータにオプションの指紋リーダーが用意されている場合、Fingerprint Reader Suite を使用してバイオメトリクスセキュリティをコンピュータに追加できます。Fingerprint Reader Suite は次の方法でセキュリティを高める機能を提供します：

- デジタル化した指紋のイメージを、ユーザー名、パスワード、およびセキュアパスポート内で生成されたセキュリティキーに関連付けます
- 指紋を使用して OS レベルの認証を管理します
- パスワードの入力に指紋リーダーが使えるようにパスワードバンクにアプリケーションとウェブページを登録します
- 指紋を指紋リーダーに通してからお気に入りのアプリケーションを起動します
- 信用情報は暗号化されたフォルダに保存されます

お使いのコンピュータが紛失または盗難に遭った場合

- 警察等の公的機関に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、対応した担当者の名前も尋ねておきます。




メモ：コンピュータを紛失した場所または盗難された場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。

- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。


デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

トラブルシューティングツール

診断ライト

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。




コンピュータのキーボード上には3個のキーボードステータスライトがあります(19ページの「正面図」を参照)。通常の動作中、キーボードステータスライトには Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock の各機能の現在のステータス(点灯または消灯)が表示されます。コンピュータがエラーなしで起動している場合、ライトは点滅してから消灯します。コンピュータが誤作動している場合、ライトのステータスで問題を識別することができます。

 **メモ：**コンピュータが POST を完了すると、Num Lock ライトは点灯したままの状態になります。BIOS 設定によってこの状態は異なります(102ページの「通常使用するオプション」を参照)。


POST 実行中の診断用ライトコード

コンピュータに関する問題のトラブルシューティングを実行する場合、左から右の順番で並ぶキーボードステータスライト(Num Lock、Caps Lock、Scroll Lock)の組み合わせ順をチェックします。コンピュータが誤動作している場合、各ライトの表示は点灯 ●、消灯 ○、または点滅 * のいずれかになります。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
○ ○ ●	マイクロコントローラは、Pentium コントローラに対するシステムの制御を扱っています。プロセッサが取り付けられていない場合、または FWH/ROM が存在しない場合でも、このコードは存続します。	<ul style="list-style-type: none"> プロセッサを装着しなおします(『サービスマニュアル』を参照)。 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(129ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
	メモリサブシステム設定動作が進行中か、またはメモリ障害が検出されました。	<ul style="list-style-type: none"> • 正常に動作している同じ種類のメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（『サービスマニュアル』を参照）。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。
	システムはフラッシュリカバリモードに入っています。	デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。
	LCD パネルが検出されなかったか、または LCD 自己テスト障害が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> • LCD ケーブルを装着しなおします（『サービスマニュアル』を参照）。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。
	EEPROM SPD データはすべての SODIMMS が使用できないことを示しています。	<ul style="list-style-type: none"> • 正常に動作している同じ種類のメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（『サービスマニュアル』を参照）。 • 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

システムメッセージ

 **メモ：**受け取ったメッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

CMOS 障害 — システム基板に障害が発生しているか、または RTC バッテリーが低下している可能性があります <F1> を押してデフォルトをロードします。

使用可能メモリが減少しています — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

エラー 8602 — 補助デバイス障害。マウスとキーボードが正しいコネクタにしっかりと取り付けられているか確認してください。

フラッシュ部書き込み保護エラー — デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

ゲート A20 障害 — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

無効な設定情報 — セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティを起動して（102 ページの「セットアップユーティリティ画面の表示」を参照）、セットアップユーティリティオプションを変更して設定エラーを修正します。

キーボード障害 — キーボードに障害があるか、またはキーボードケーブルが緩んでいる可能性があります（89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照）。

アドレス、読み取り値の予想値におけるメモリアドレス行エラー VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値の予想値におけるメモリダブルワード論理エラー — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値の予想値におけるメモリ奇数 / 偶数論理エラー — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値の予想値におけるメモリ書き込み / 読み取りエラー — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

CMOS のメモリサイズが無効です — 89 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

利用可能な起動デバイスがありません。F1 キーを押して起動を再試行するか、F2 キーを押してセットアップユーティリティを実行してください。オンボード診断を実行する場合は F5 キーを押します — システムが、起動可能なデバイスまたはパーティションを見つけれられません。

- フロッピードライブが起動デバイスの場合は、ドライブが適切に取り付けられていること、また起動フロッピーディスクがドライブに挿入されていることを確認します。
- ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されているか確認します。
- セットアップユーティリティを起動して、起動順序の情報が正しいか確認します（102 ページの「セットアップユーティリティ画面の表示」を参照）。

ハードディスクドライブに起動セクタがありません — セットアップユーティリティを起動し、ハードドライブの設定情報が正しいか確認します（102 ページの「セットアップユーティリティ画面の表示」を参照）。

タイマーチェック割り込み信号がありません — Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します (77 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照)。

非システムディスクまたはディスクエラーです — 起動オペレーティングシステムの入ったフロッピーディスクと交換するか、フロッピーディスクを取り出してコンピュータを再起動します。

非起動用ディスクです — 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

電源の警告メッセージが無効になっています。セットアップユーティリティを実行し、これらのメッセージを有効にしてください — 101 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

内蔵ハードドライブの読み取り障害 — 詳細に関しては、『サービスマニュアル』を参照してください。

AC 電源アダプタのワット数およびタイプを決定できません。 バッテリーが充電されない場合があります。システムは利用可能な電源に適合するようにパフォーマンスを調整します。最善のシステムパフォーマンスが得られるようにデル AC アダプタまたはより大きな容量の AC アダプタを接続してください (AC アダプタの詳細に関しては、134 ページの「AC アダプタ」を参照してください)。電源の警告メッセージを表示したくない場合は、(F1 キーまたは F2 キーの前に) F3 キーを押します。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください — 適切な AC アダプタをコンピュータまたはドッキングステーションに接続します。

コンピュータがドッキングされているが、バッテリー電源だけが検出される。これは、電源アダプタが見つからない場合、電源コードがコンセントから外れている場合、またはコンピュータがドッキングステーションに適切に接続されていない場合に起こる場合があります。アンドックしてからドッキングを行い、電源アダプタを接続するか、または電源コードをコンセントに接続してください。続行するには F1 キーを押します。

システムメモリの容量が変わりました。メモリを変更していない場合、この問題を解決するには、メモリを装着しなおします。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください。オンボード診断を実行する場合は F5 キーを押します —

- メモリを装着しなおします (『サービスマニュアル』の「メモリ」を参照)。
- メモリの取り外しまたは取り付けを行っていない場合、メモリモジュール障害またはシステム基板障害が発生している可能性があります。デルに連絡してサポートを受けてください (129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

サポートされていないメモリです。続行するには F1 キーを押します — 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します（『サービスマニュアル』を参照）。

警告：xxx-W AC アダプタが検出されました。これはコンピュータ出荷時に同梱されていた推奨の 65/90-W AC アダプタよりも容量が低いものです。これにより、バッテリーの充電時間が長くなります。システムは利用可能な電源に適合するようにパフォーマンスを調整します。最善のシステムパフォーマンスが得られるようにデル 65/90-W AC アダプタまたはより大きな容量の AC アダプタを接続してください。電源の警告メッセージを表示したくない場合は、(F1 キーまたは F2 キーの前に) F3 キーを押します。続行するには F1 キーを、セットアップユーティリティを実行するには F2 を押してください — 適切な AC アダプタをコンピュータまたはドッキングステーションに接続します。

警告：プライマリバッテリーを識別できません。このバッテリーを取り外すまで、このシステムではバッテリーの充電ができません — 2 個のバッテリーを装備したコンピュータの場合、プライマリバッテリーが正しく取り付けられていないか、またはバッテリーまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：セカンドバッテリーを識別できません。このバッテリーを取り外すまで、このシステムではバッテリーの充電ができません — 2 個のバッテリーを装備したコンピュータの場合、セカンドバッテリーが正しく取り付けられていないか、またはバッテリーまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：バッテリー (BATTERIES) を識別できません。このバッテリーを取り外すまで、このシステムではバッテリーの充電ができません — 2 個のバッテリーを装備したコンピュータの場合、いずれか 1 つまたは両方のバッテリーが正しく取り付けられていないか、またはバッテリーまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：バッテリー (BATTERY) を識別できません。このシステムではこのバッテリーの充電ができません — バッテリーが正しく取り付けられていないか、またはバッテリーまたはシステム基板に欠陥がある可能性があります。

警告：取り付けられたバッテリーはシステムに電源を供給できません。このバッテリーが接続されている状態ではシステムは起動しません。システムをシャットダウンするには F1 キーを押します。

警告：バッテリーが極めて低下しています。続行するには F1 キーを押します。

警告メッセージが無効になっています。セットアップユーティリティを実行し、これらのメッセージを有効にしてください — 101 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

警告:[プライマリ/セカンダリ] EIDE コントローラ上のドライブ [0/1] が、通常の仕様外の環境で動作していることを、デルのディスクモニタリングシステムが検知しました。すぐにデータをバックアップし、サポートデスクまたはデルに問い合わせしてハードドライブを交換することをお勧めします — デルに連絡してサポートを受けてください (129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

お使いの電源アダプタは、取り付けられたドッキングステーションを実行するだけの電力を供給できません。アンドックするか、または適切なアダプタを挿入してください。続行するには F1 キーを押します — 適切な AC アダプタを接続します。

お使いのシステムはドッキングされていますが、AC アダプタのタイプを決定できません。アンドックするか、または適切なアダプタを挿入してください。続行するには F1 キーを押します — AC アダプタが正しく取り付けられていないか、または AC アダプタまたはドッキングステーションに欠陥がある可能性があります。

システムは予期する以上に熱くなっているため、システムの電源が自動的に切れます。このような事態が発生する要因としては次のことが考えられます。室内温度が過度に高い環境でシステムを動作または保管しているか、またはシステムの通気孔の通気を妨げている。この問題が繰り返し起こる場合は、デルに電話してエラーコード #M1004 でサポートを受けてください — デルに連絡してサポートを受けてください (129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

*** プロセッサ SSDT データが見つかりません *** マルチコアプロセッサに対するオペレーティングシステムの電力管理が無効になっています —

*** UL 回路がトリップしました *** UL トリップ数は F3 キーメッセージの下に表示されます。UL カウンタをクリアするには F3 キーを押します。操作を続行するにはその他のキーを押します — Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します (77 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照)。

*** プロセッサマイクロコードの更新障害 *** このシステムではプロセッサのリビジョンはサポートされていません — 使用するプロセッサがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します (131 ページの「仕様」を参照)。


ハードウェアに関するトラブルシューティング

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。


Windows XP:

- 1 スタート → ヘルプとサポート をクリックします。
- 2 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
- 3 問題を解決するセクションで、ハードウェアに関するトラブルシューティングをクリックします。
- 4 ハードウェアに関するトラブルシューティングの一覧で、問題を適切に示すオプションを選択し、次へをクリックしてトラブルシューティングの残りの手順に従います。

Windows Vista:

- 1 Windows Vista の スタートボタン  をクリックして、ヘルプとサポートをクリックします。
- 2 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
- 3 検索結果で、問題を最もうまく説明しているオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。



Dell Diagnostics (診断) プログラム

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルにお問い合わせになりサポートを受ける前に、85 ページの「トラブルシューティング」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します。


Dell Diagnostics (診断) プログラムは、ハードドライブまたはお使いのコンピュータに付属する『Drivers and Utilities』メディアから実行できます。


-  メモ：『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。
-  メモ：Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ動作します。

ハードドライブから Dell Diagnostics（診断）プログラムの起動


Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行する前に、セットアップユーティリティ（102 ページの「セットアップユーティリティ画面の表示」を参照）を起動し、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの個別診断ユーティリティパーティションに格納されています。

-  メモ：コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

-  メモ：コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルまでお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

- 1 コンピュータの電源ケーブルがコンセントにしっかりと接続されているか確認します。
- 2 <Fn> キーまたはミュートボタンを押したまま、コンピュータの電源を入れます。

-  メモ：あるいは、起動時に一回のみの起動メニューから **Diagnostics（診断）プログラム** を選択し、診断ユーティリティパーティションを起動し、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（102 ページの「起動順序の変更」を参照）。

起動前システムアセスメント（PSA）が実行され、システム基板、キーボード、ディスプレイ、メモリ、ハードドライブ等の初期テストが続けて実行されます。

- このアセスメント中に、表示される質問に答えます。
- PSA の実行中に失敗が検出された場合は、エラーコードを書き留め、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

- PSA が正常に完了したら、以下のメッセージが表示されます：
「Booting Dell Diagnostic Utility Partition.
(Dell Diagnostics (診断) プログラムユーティリティパー
ティションの起動中。) Press any key to continue.(続
けるには任意のキーを押します。)」



メモ：Diagnostics (診断) プログラムユーティリティパーティション
が検出されませんというメッセージが表示された場合、『Drivers and
Utilities』メディアから Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行しま
す (80 ページの「『Drivers and Utilities』メディア から Dell Diagnostics
(診断) プログラムを起動する場合」を参照)。

- 3 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティ
リティパーティションから Dell Diagnostics (診断) プログラムが
起動します。
- 4 <Tab> を押して **Test System** (システムのテスト) を選択し、<Enter>
キーを押します。



メモ：コンピュータの完全なテストを実行する場合は、**Test System**
(システムのテスト) を選択することをお勧めします。**Test Memory**
(メモリのテスト) を選択すると、拡張メモリのテストが開始します。
このテストが完了するまでには 30 分以上かかる可能性があります。
テストが完了したら、テストの結果を記録し、任意のキーを押して前
のメニューに戻ります。

- 5 Dell 診断プログラムの メインメニュー で、タッチパッド / マウスを
左クリックするか、<Tab> を押し、次に <Enter> を押して、実行す
るテストを選択します (81 ページの「Dell Diagnostics (診断) プロ
グラムのメインメニュー」を参照)。



メモ：エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の
指示に従います。

- 6 すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、Dell 診断プ
ログラムのメインメニューに戻ります。
- 7 メインメニューウィンドウを閉じて Dell 診断プログラムを終了し、
コンピュータを再起動します。

『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics (診断) プログラムを起動する場合

Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行する前に、セットアップユーティリティ (102 ページの「セットアップユーティリティ画面の表示」を参照) を起動し、コンピュータの設定情報を閲覧して、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

- 1 『Drivers and Utilities』メディアをオプティカルドライブに挿入します。
- 2 コンピュータを再起動します。
- 3 DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。



メモ：キーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、<F12> を押して放す操作を等間隔で行って起動デバイスメニューを開いてください。

キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

- 4 起動デバイスの一覧が表示されたら、上矢印キーまたは下矢印キーを使用して **CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> キーを押します。



メモ：一回のみの起動メニューを使用すると、今回の起動に限り起動順序が変更されます。再起動すると、コンピュータはセットアップユーティリティで指定された起動順序に従って起動します。

- 5 任意のキーを押して、CD/DVD から起動することを確認します。

キーを押すタイミングが遅れてオペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft Windows デスクトップが表示されるまでそのまま待機し、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

- 6 1 と入力して、**32 ビット Dell Diagnostics (診断) プログラム** を実行します。
- 7 **Dell Diagnostics (診断) プログラムメニュー** で、1 を入力して、**Dell 32-bit Diagnostics for Resource CD (graphical user interface)** を選択します。

- 8 <Tab> を押して **Test System**(システムのテスト)を選択し、<Enter> キーを押します。



メモ：コンピュータの完全なテストを実行する場合は、**Test System** (システムのテスト) を選択することをお勧めします。**Test Memory** (メモリのテスト) を選択すると、拡張メモリのテストが開始します。このテストが完了するまでには 30 分以上かかる可能性があります。テストが完了したら、テストの結果を記録し、任意のキーを押して前のメニューに戻ります。

- 9 **Dell Diagnostics** (診断) プログラムのメインメニューで、マウスを左クリックするか、<Tab> を押し、次に <Enter> キーを押して、実行するテストを選択します (81 ページの「**Dell Diagnostics** (診断) プログラムのメインメニュー」を参照)。



メモ：エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。


- 10 すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、**Dell** 診断プログラムのメインメニューに戻ります。
- 11 メインメニューウィンドウを閉じて **Dell** 診断プログラムを終了し、コンピュータを再起動します。
- 12 『**Drivers and Utilities**』メディアをオプティカルドライブから取り外します。

Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics (診断) プログラムがロードされると、以下のメニューが表示されます：


オプション	機能
Test Memory (メモリのテスト)	スタンドアロンメモリのテストを実行
Test System (システムのテスト)	システムの Diagnostics (診断) を実行
終了	Diagnostics (診断) の終了

<Tab> を押して実行するテストを選択し、<Enter> キーを押します。


 **メモ**：コンピュータの完全なテストを実行する場合は、**Test System**（システムのテスト）を選択することをお勧めします。**Test Memory**（メモリのテスト）を選択すると、拡張メモリのテストが開始します。このテストが完了するまでには 30 分以上かかる可能性があります。テストが完了したら、テストの結果を記録し、任意のキーを押してこのメニューに戻ります。

Test System（システムのテスト）が選択されると、以下のメニューが表示されます：

オプション	機能
Express Test	システムデバイスのクイックテストを実行します。このテストは通常 10 ～ 20 分かかります。 メモ ：Express Test ではお客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定できる可能性が増します。
Extended Test	システムデバイスの完全なチェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかる可能性があります。 メモ ：Extended Test では、定期的に表示される個々の質問に回答を入力する必要があります。
Custom Test (カスタムテスト)	特定のデバイスをテストしたり、実行するテストをカスタマイズする場合に使用します。
Symptom Tree (症状ツリー)	このオプションでは、発生している問題の症状に基づいたテストを選択できます。このオプションにより、最も一般的な現象が一覧表示されます。

 **メモ**：コンピュータのデバイスの完全なチェックを実行する場合は、**Extended Test** を選択することをお勧めします。

テスト中に問題が検出されると、エラーコードと問題を説明するメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。問題を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

 **メモ**：デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。

以下のタブには、カスタムテストまたは症状ツリーオプションから実行されるテストの追加情報が表示されます：

タブ	機能
Results (結果)	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors (エラー)	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help (ヘルプ)	テストの説明が表示されます。テスト実行の要件があれば、その説明も表示されます。
Configuration (構成)	<p>選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。</p> <p>Dell Diagnostics (診断) プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。</p> <p>メモ: デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。</p>
Parameters (パラメータ)	必要に応じてテストの設定を変更し、テストをカスタマイズすることができます。

トラブルシューティング

コンピュータのトラブルシューティングについては、次のヒントに従ってください：

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺デバイスが機能しない場合、デバイスが適切に接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。



メモ：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

バッテリーの問題



警告：バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。バッテリーを交換する場合、同じバッテリー、または製造元が推奨する同等のバッテリーのみ使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元の指示に従って廃棄してください。



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ：モデムはアナログ電話ジャックにのみ接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムは動作しません。



メモ：ネットワークアダプタコネクタにモデムケーブルを接続しないでください (25 ページの「背面図」を参照)。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します —

E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します：

- 1 Outlook Express でツール→オプション→セキュリティ をクリックします。
- 2 必要に応じて添付ファイルを許可しない をクリックしてチェックマークを外します。

電話線の接続を確認します

電話ジャックを確認します

モデムを壁の電話ジャックに直接接続します

他の電話線を使用してみます


- 電話回線ケーブルがモデムのジャックに接続されていることを確認します（ジャックには緑色のラベルが付いているか、または隣にコネクタ形のアイコンが付いています）。
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッと感触があることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接壁の電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM 診断ツールを実行します

Windows XP:

- 1 スタート→すべてのプログラム→Modem Helper をクリックします。
- 2 画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します 一部のコンピュータでは、Modem Helper を利用できない場合があります。

Windows Vista:

- 1 スタート  → すべてのプログラム → Modem Diagnostic Tool (モデム診断ツール) をクリックします。
- 2 画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します Modem 診断プログラムは一部のコンピュータでは使用できません。


モデムが WINDOWS と通信しているか確認します

Windows XP:

- 1 スタート → コントロールパネル → プリンタとその他のハードウェア → 電話とモデムのオプション → モデム をクリックします。
- 2 Windows がモデムを検出したか確認するため、モデムの COM ポート → プロパティ → 診断 → モデムの照会 をクリックします。

すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。


Windows Vista:

- 1 スタート  → コントロールパネル → プリンタとその他のハードウェア → 電話とモデムのオプション → モデム をクリックします。
- 2 Windows がモデムを検出したか確認するため、モデムの COM ポート → プロパティ → 診断 → モデムの照会 をクリックします。

すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。

インターネットへの接続を確認します — インターネットプロバイダとの契約が済んでいることを確認します。Outlook Express E-メールプログラムを開き、ファイル をクリックします。オフライン作業 の隣にチェックマークが付いている場合は、そのチェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

エラーメッセージ

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

エラーメッセージがリストにない場合、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。


ファイル名には以下の記号を入れられません： \ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

.DLL ファイルが見つかりません —アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします：

Windows XP:

- 1 スタート → コントロールパネル → プログラムの追加と削除 → **Programs and Features** (プログラムと機能) をクリックします。
- 2 削除するプログラムを選択します。
- 3 **Uninstall** (アンインストール) をクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Windows Vista:

- 1 スタート  → コントロール パネル → **Programs** (プログラム) → **Programs and Features** (プログラムと機能) をクリックします。
- 2 削除するプログラムを選択します。
- 3 **Uninstall** (アンインストール) をクリックします。
- 4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

drive letter:\ IS NOT ACCESSIBLE. (ドライブ文字 :\ にアクセスできません。) ドライブの準備ができていません —ドライブがディスクを読み取ることができません。ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。


起動可能なメディアを挿入します —起動ディスクまたは起動 CD または DVD を挿入します。

非システムディスクエラーです —フロッピーディスクをドライブから取り出し、コンピュータを再起動します。


十分なメモリまたはリソースがありません。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおります —すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動してコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使うプログラムを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません —デルにお問い合わせください (129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

フリーズおよびソフトウェアの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータの反応が停止した場合

 **注意：**オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。


コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了します

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押してタスクマネージャを開きます。
- 2 アプリケーションタブをクリックします。
- 3 応答しなくなったプログラムをクリックして選択します。
- 4 タスクの終了 をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

 **メモ：**ほとんどのソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD または DVD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します


Windows XP:

プログラム互換性ウィザードは、Windows XP 以外のオペレーティングシステムの環境に似た環境で動作するようにプログラムを設定します。

- 1 スタート → すべてのプログラム → アクセサリ → プログラム互換性ウィザード → 次へ をクリックします。
- 2 画面の指示に従います。

Windows Vista:

Windows Vista には、Windows Vista オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 スタート  → コントロールパネル → **Programs** (プログラム) → このバージョンの **Windows** でより古いプログラムを使用する をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、次へ をクリックします。
- 3 画面の指示に従います。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるソフトウェアのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細に関して、そのソフトウェアの製造元に問い合わせます


- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応しているか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細に関しては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、CD または DVD を調べます

開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

メモリの問題

 **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**


メモリが不足しているというメッセージが表示された場合

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（『サービスマニュアル』を参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし（『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（77 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合

- メモリモジュールを装着しなおし（『サービスマニュアル』の「メモリ」を参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（『サービスマニュアル』の「メモリの取り付け」を参照）。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、『サービスマニュアル』を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（77 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ネットワークの問題

 **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。


ネットワークライトを確認します — リンク保全ライトが消灯している場合（27 ページの「ネットワークコネクタ（RJ-45）」を参照）、ネットワークと通信していません。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、ネットワークにログインしなおしてみます

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 110 ページの「ハードウェアおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

電源の問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 71 ページの「診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントにしっかりと装着しなします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他の電源保護装置を使用している場合は、それらを外してコンピュータの電源が正常に入ることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。
- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電源ライトが黄色に点滅している場合 — コンピュータに電力は供給されていますが、内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 必要であれば、電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。


電源ライトが黄色に点灯している場合 — デバイスが故障しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。


- すべてのメモリモジュールを取り外してから装着しなします (『サービスマニュアル』を参照)。
- すべての拡張カードを取り外してから装着しなします (63 ページの「ExpressCard、またはダミーカードの取り外し」を参照)。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります：

- 電源、キーボード、およびマウス拡張ケーブル
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

プリンタの問題

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ：**プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタのケーブル接続を確認します

- ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。


コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

Windows がプリンタを認識しているか確認します

Windows XP:


- 1 スタート→コントロールパネル→プリンタとその他のハードウェア→インストールされているプリンタまたは **FAX** プリンタを表示する をクリックします。
- 2 プリンタが一覧に表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 プロパティ→ポート をクリックします。パラレルプリンタの場合、印刷先のポートが **LPT1** (プリンタポート) に設定されているか確認します。USB プリンタの場合は、印刷先のポートが **USB** に設定されているか確認します。


Windows Vista:

- 1 スタート  → コントロールパネル → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → プリンタをクリックします。
- 2 プリンタが一覧に表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 プロパティ をクリックし、ポート をクリックします。
- 4 必要に応じて設定を調整します。

プリンタドライバを再インストールします — プリンタドライバを再インストールする手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを削除します — ロックが解除されているか確認します (スキャナーにロックタブやボタンがある場合)。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブル接続を確認します


- ケーブルの接続については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

スキャナーが **MICROSOFT WINDOWS** によって認識されていることを確認します

Windows XP:


- 1 スタート → コントロールパネル → プリンタとその他のハードウェア → スキャナーとカメラ をクリックします。
- 2 お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

Windows Vista:


- 1 スタート  → コントロールパネル → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → スキャナとカメラをクリックします。
- 2 お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

スピーカーから音が出ない場合

 **メモ**：MP3 およびその他のメディアプレーヤーのボリューム調節は、Windows のボリューム設定よりも優先されることがあります。メディアプレーヤーのボリュームが低く調節されていたり、オフになっていないかを常に確認してください。

スピーカーケーブルの接続を確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図の指示通りにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合は、スピーカーがカードに接続されていることを確認します。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

Windows の音量を調整します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電氣的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

スピーカーの診断プログラムを実行します

サウンドドライバを再インストールします — 105 ページの「ドライバ」を参照してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します — 110 ページの「ハードウェアおよびソフトウェアの問題」を参照してください。

ヘッドフォンから音がしない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されていることを確認します (24 ページの「右側面図」を参照)。

Windows の音量を調整します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

タッチ패드またはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

- 1 スタート→コントロールパネル→プリンタとその他のハードウェア→マウス をクリックします。
- 2 設定を調整してみます。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 マウスを取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。


タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性あります。

セットアップユーティリティの設定をチェックします — セットアップユーティリティで、ポインティングデバイスオプションに正しいデバイスが表示されていることを確認します。(コンピュータは設定を調整しなくても自動的に USB マウスを認識します。) セットアップユーティリティの使い方については、101 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

マウスコントローラをテストします — マウスコントローラ（ポインタの動きに影響します）およびタッチパッドまたはマウスボタンの動作を確認するには、Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Pointing Devices** テストグループの Mouse テストを実行します（77 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。


タッチパッドドライバを再インストールします — 106 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

ビデオとモニタの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **注意：** 工場出荷時に PCI グラフィックカードが取り付けられていた場合は、追加のグラフィックカードを取り付ける際にカードを取り外す必要はありません。ただし、そのカードはトラブルシューティングのために必要です。カードを取り外した場合は、安全な場所に保管してください。グラフィックカードの詳細については、support.jp.dell.com にアクセスしてください。

画面に何も表示されない場合

 **メモ：** トラブルシューティングの手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

画面が見づらい場合

診断ライトを確認します — 71 ページの「診断ライト」を参照してください。


モニターの設定を確認します — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

WINDOWS の画面設定を調整します

Windows XP:

- 1 スタート → コントロールパネル → デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 2 変更する領域をクリックするか、画面 アイコンをクリックします。
- 3 画面の色 および 画面の解像度 を別の設定にしてみます。

Windows Vista:

- 1 スタート  → コントロールパネル → **Hardware and Sound** (ハードウェアとサウンド) → 個人設定 → 画面の設定 をクリックします。
- 2 必要に応じて 解像度 および 色の設定 を調整します。

3D イメージの品質が良くない場合

グラフィックカードの電源ケーブルの接続を確認します。グラフィックカードの電源ケーブルがカードに正しく接続されていることを確認します。


Only part of the display is readable (画面の一部しか表示されない)

外付けモニターを接続します

- 1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
- 2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください (129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

電源ライト

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータの前面にある電源ボタンライトは、点滅したり点灯することで以下のさまざまな動作状態を示します：

- 電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合、71 ページの「診断ライト」を参照してください。
- 電源ライトが緑色に点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。
- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
 - 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
 - コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され、その電源タップがオンになっていることを確認します。
 - 電源保護装置、電源タップ、電源延長ケーブルなどをお使いの場合、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか確認します。
 - 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。


- 電源ライトが黄色に点灯している場合は、コンピュータに電力は供給されているが、内部電力に問題がある可能性があります。
 - 該当する場合、電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域の AC 電源に一致しているか確認します。
- 電源ライトが黄色に点灯している場合は、デバイスが誤動作しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。
 - すべてのカードを取り外してから装着しなおします (61 ページの「カードの使い方」を参照)。
- 電氣的な妨害を解消します 電氣的な妨害の原因には、以下のものがあります：
 - 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
 - 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

Dell テクニカル Update Service


Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E-メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、support.jp.dell.com/technicalupdate (英語) にアクセスしてください。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーのデルサポート、 アイコンまたはスタート ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーの  アイコンまたは スタートメニューからアクセスできます。


デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合は、次の手順を実行します：

- 1 スタート→すべてのプログラム→デルサポート→デルサポート設定をクリックします。
- 2 **Show icon on the taskbar**（タスクバーのアイコンを表示する）オプションがチェックされていることを確認します。




メモ：デルサポートユーティリティがスタートメニューから利用できない場合は、support.jp.dell.com からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。


タスクバーの  アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンをクリックまたは右クリックします：

- お使いのコンピュータ環境のチェック
- デルサポートユーティリティの設定の表示
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス
- よくあるお問い合わせ (FAQ) の表示
- デルサポートユーティリティの詳細の表示
- デルサポートユーティリティの終了



デルサポートアイコンのダブルクリック

 アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ (FAQ) の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、デルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細に関しては、**Dell™** サポート画面の上部分にある疑問符 (?) をクリックしてください。

セットアップユーティリティ

概要

 **メモ**：セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。 **External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、ヘルプとサポートセンターにアクセスしてください。Windows XP のヘルプとサポートセンターにアクセスするには、**スタート**→**ヘルプとサポート**をクリックします。Windows Vista の場合は、**Windows Vista** の**スタートボタン**→**ヘルプとサポート**をクリックします。


以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します：

- コンピュータのパスワードなどの選択可能な機能を設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます：


- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

 **メモ**：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。キーを押すタイミングが合わず Microsoft® Windows® のロゴが表示されてしまったら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ち、次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

セットアップ画面

 **メモ：**セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

各画面では、セットアップユーティリティのオプションが左側に一覧表示されます。各オプションの右側には、そのオプションの設定状態または値が表示されます。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションまたは値は、明るさを抑えた色で表示されています。


画面の右上隅には現在ハイライトされているオプションに関するヘルプ情報が表示され、画面の右下隅にはコンピュータに関する情報が表示されます。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

 **メモ：**一回のみ起動順序を変更するには、103 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **オプティカルドライブ**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示）します。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧の順序を変更するには、デバイスをハイライト表示して、<+> または <->（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

- 1 **スタートメニューから、コンピュータをシャットダウンします。**
- 2 **コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。**
- 3 **コンピュータをコンセントに接続します。**

- 4 コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて、オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

- 5 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

赤外線センサーの有効化

- 1 基本デバイス構成で **Infrared Data Port** (赤外線データポート) が見つかるまで <Alt><p> を押します。



メモ：シリアルコネクタに割り当てられた COM ポートと異なる COM ポートを選択していることを確認します。

- 2 下矢印キーを押して **Infrared Data Port** (赤外線データポート) を選択し、右矢印キーを押して設定を COM ポートに変更します。
- 3 <Esc> を押し、次には **はい** をクリックして変更内容を保存し、セットアップユーティリティを終了します。コンピュータを再起動するよう求められたら、**はい** をクリックします。
- 4 画面の指示に従います。
- 5 赤外線センサーが有効になったら、**はい** をクリックしてコンピュータを再起動します。

赤外線センサーを有効にすると、赤外線デバイスとの通信を確立することができます。赤外線デバイスをセットアップして使用するには、赤外線デバイスに付属しているマニュアルおよびヘルプとサポートセンター(スタート→ヘルプとサポートセンター をクリック) にアクセスしてください。

ソフトウェアの再インストール

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、必要なドライバおよびユーティリティが出荷時にすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

➡ **注意：**『Drivers and Utilities』メディアには、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも収録されている場合もあります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft Windows オペレーティングシステムに付属しています。以下の場合には、ドライバをインストールする必要があります：

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け


ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

Microsoft® Windows® XP

- 1 スタート → コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックし、システム をクリックします。
- 3 システムのプロパティ ウィンドウで、ハードウェア タブをクリックし、デバイスマネージャ をクリックします。

Microsoft Windows Vista™

- 1 Windows Vista のスタートボタン  をクリックして、コンピュータ を右クリックします。
- 2 プロパティ → デバイスマネージャ をクリックします。



メモ：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、続行 をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡して作業を続けます。

一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（[!] の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（106 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバおよびユーティリティの再インストール



注意：デルサポートサイト Support.jp.dell.com および『Drivers and Utilities』メディアには、お使いの Dell™ コンピュータ用として承認済みのドライバが提供されています。その他の媒体からのドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。



Windows デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合は、Windows のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

Windows XP:

- 1 スタート → マイコンピュータ → プロパティ → ハードウェア → デバイスマネージャー をクリックします。
- 2 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、プロパティ をクリックします。
- 3 ドライバタブ → ドライバのロールバック をクリックします。

Windows Vista:

- 1 Windows Vista のスタートボタン  をクリックして、コンピュータ を右クリックします。
- 2 プロパティ → デバイスマネージャ をクリックします。
 **メモ**： ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。
- 3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、プロパティ をクリックします。
- 4 ドライバタブ → ドライバのロールバック をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合、システムの復元（111 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）を使って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムを戻します。

- 1 Windows デスクトップが表示されている状態で、『Drivers and Utilities』メディアをドライブにセットします。
『Drivers and Utilities』メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は手順 5 に進みます。
- 2 『Drivers and Utilities』メディアインストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。
- 3 **InstallShield** ウィザードの完了 ウィンドウが表示されたら、リソースメディアを取り出し、完了 をクリックしてコンピュータを再起動します。
- 4 Windows デスクトップが表示されたら、リソースメディアをもう一度挿入します。

5 **Dell ResourceCD** 用の **InstallShield** ウィザードへようこそ 画面で、次へ をクリックします。



メモ：『Drivers and Utilities』メディアでは、出荷時にお使いのコンピュータに取り付けられていたハードウェアのドライバのみが表示されます。追加のハードウェアを取り付けてある場合、新しいハードウェアのドライバは『ResourceCD』によって表示されないことがあります。ドライバが表示されていない場合は、『ResourceCD』を終了します。ドライバの情報については、デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

コンピュータ上のハードウェアをリソースメディアが検出中であるというメッセージが表示されます。

お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**My Drivers—The ResourceCD has identified these components in your system** (マイドライバー ResourceCD はシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました) ウィンドウに自動的に表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

特定のドライバが一覧に表示されていない場合は、オペレーティングシステムはそのドライバを必要としません。

『Drivers and Utilities』メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元 (111 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照) で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

ほとんどの場合、CD/DVD は自動的に実行されます。実行されない場合、Windows エクスプローラを起動し、CD/DVD ドライブのディレクトリをクリックして CD/DVD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD/DVD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3 ツールバーの言語 ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語 (利用可能な場合) をクリックします。

4 ウェルカム画面で、次へ をクリックし、**CD/DVD** がハードウェアのスキャンを完了するまで待ちます。

- 5 他のドライバやユーティリティを検出するには、**検索基準**で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム**、および**トピック**のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

- 6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。
- 7 **インストールボタン**（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

インストールが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または**解凍**をクリックして展開手順に従い、**readme** ファイルを参照してください。

ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで**CD/DVD**のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。



ドライバの手動再インストール

前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから：

Windows XP:

- 1 **スタート** → **マイコンピュータ** → **プロパティ** → **ハードウェア** → **デバイスマネージャー** をクリックします。
- 2 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ**または**ビデオ**）。
- 3 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 4 **ドライバタブ** → **ドライバの更新** をクリックします。
- 5 **一覧**または**特定の場所からインストールする（詳細）** → **次へ** をクリックします。
- 6 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 7 該当するドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

Windows Vista:

- 1 Windows Vista のスタートボタン をクリックして、コンピュータを右クリックします。
- 2 プロパティ → デバイスマネージャをクリックします。
 **メモ**：ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。
- 3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、オーディオまたはビデオ）。
- 4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 5 ドライバタブ → ドライバの更新 → コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します をクリックします。
- 6 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 7 該当するドライバの名前が表示されたら、ドライバの名前 → **OK** → **次へ** をクリックします。
- 8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ハードウェアおよびソフトウェアの問題

本項では、Windows XP および Windows Vista オペレーティングシステムに関する問題について説明します。デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。


ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します：

Windows XP:

- 1 **スタート** → **ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
- 3 **問題を解決する** セクションで、ハードウェアに関するトラブルシューティング をクリックします。

- 4 ハードウェアに関するトラブルシューティングの一覧で、問題を適切に示すオプションを選択し、次へをクリックしてトラブルシューティングの残りの手順に従います。

Windows Vista:

- 1 Windows Vista の スタートボタン をクリックして、ヘルプとサポート をクリックします。
- 2 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティング と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
- 3 検索結果で、問題を最もうまく説明しているオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。


お使いのオペレーティングシステムの復元


次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます:

- システムの復元は、データファイルに影響を与えることなく、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- シマンテック製の Dell PC Restore (Windows XP で利用可能) および Dell Factory Image Restore (Windows Vista で利用可能) によって、お使いのハードドライブはコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻ります。どちらのアプリケーションでも、ハードドライブ内の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。Dell PC Restore または Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム』ディスクが付属していた場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、オペレーティングシステムディスクを使用した場合も、ハードドライブ上のデータはすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ、オペレーティングシステムディスクを使用してください。

Microsoft Windows システムの復元の使い方


ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元オプションによってコンピュータに行われる変更は、完全に元に戻すことが可能です。

 **注意：** データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

 **メモ：** このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。


システムの復元の開始


Windows XP:

 **注意：** コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** → **システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータを以前の状態に復元する**、または **復元ポイントの作成** のいずれかをクリックします。
- 3 **次へ** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

Windows Vista:


- 1 **スタート**  をクリックします。
- 2 検索の開始ボックスで、**System Restore** と入力し、<Enter> キーを押します。

 **メモ：** ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、目的の操作を行うために管理者に連絡します。

- 3 **次へ** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

システムの復元を実行しても問題が解決されない場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます。


最後のシステムの復元を元に戻す

-  **注意：**最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。


Windows XP:

- 1 スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→システムツール→システムの復元 をクリックします。
- 2 以前の復元を取り消す をクリックして、次へ をクリックします。

Windows Vista:

- 1 スタート  をクリックします。
- 2 検索の開始ボックスで、System Restore と入力し、<Enter> キーを押します。
- 3 以前の復元を取り消す をクリックして、次へ をクリックします。

システムの復元を有効にする

-  **メモ：**Windows Vista では、ディスク領域が少ない場合でも、システムの復元は無効になりません。したがって、次の手順は Windows XP のみに適用されます。

200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。

システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します：

- 1 スタート→コントロールパネル→パフォーマンスとメンテナンス→システム をクリックします。
- 2 システムの復元 タブをクリックし、システムの復元を無効にする のチェックマークが付いていないことを確認します。

Dell™ PC Restore および Dell Factory Image Restore の使用

-  **注意：**Dell PC Restore、Dell Factory Image Restore のいずれを使用しても、ハードドライブ内の全データが永久に削除され、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムはすべて削除されます。できる限り、これらのオプションを使用する前にデータをバックアップするようにしてください。Dell PC Restore または Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

 メモ：シマンテック製の Dell PC Restore および Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell PC Restore(Windows XP)または Dell Factory Image Restore(Windows Vista) は、オペレーティングシステムを復元する際の最終的な方法として使用してください。これらのオプションにより、お使いのハードドライブはコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻ります。コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードドライブから削除されます。 覧 データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。できる限り、PC Restore または Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップするようにしてください。

Windows XP:Dell PC Restore


Dell PC Restore の使用：

- 1 コンピュータの電源を入れます。

起動プロセスの間、www.dell.com/jp と書かれた青いバーが画面の上部に表示されます。


- 2 青色のバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータがスタートし終わるのを待って、もう一度再スタートします。

 注意：PC Restore の作業を続けたくない場合は、**Reboot**（再起動）をクリックします。

- 3 **Restore**（復元）をクリックし、**Confirm**（確認）をクリックします。復元処理を完了するには、約 6 ～ 10 分かかります。

- 4 プロンプトが表示されたら、**Finish**（終了）をクリックしてコンピュータを再起動します。

 メモ：コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**Finish**（終了）をクリックすると、コンピュータが完全に再起動されます。

- 5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。

コンピュータは再起動します。コンピュータは初期の稼働状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

6 次へ をクリックします。

システムの復元 画面が表示されて、コンピュータが再起動します。

7 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

PC Restore の削除：



注意： Dell PC の復元をハードドライブから永久に削除すると、PC の復元ユーティリティをお使いのコンピュータから削除します。Dell PC Restore の削除後は、Dell PC Restore を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC の復元を使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブに空き容量を作りたい場合であっても、PC Restore をお使いのコンピュータからは削除しないことをお勧めします。ハードドライブから PC Restore を削除すると、呼び戻すことさえ不可能になるため、コンピュータのオペレーティングシステムを初期状態に戻すための PC Restore の使用は完全に不可能になります。

1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。

2 Microsoft Windows エクスプローラで、**c:\dellutilities\DSR** に移動します。

3 ファイル名 **DSRIRRemv2.exe** をダブルクリックします。



メモ： ローカルのシステム管理者としてログオンしない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてから、ローカル管理者としてログオンします。



メモ： お使いのコンピュータのハードドライブに PC Restore のパーティションが存在しない場合、パーティションが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてください。削除するパーティションはありません。

4 **OK** をクリックして、ハードドライブ上の PC Restore パーティションを削除します。

5 確認のメッセージが表示されたら、**Yes** (はい) をクリックします。

PC の復元用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。

6 Windows エクスプローラで ローカルディスク (C) を右クリックし、プロパティ をクリックします。空き領域 の数値が増えていることで、利用できるディスク容量が増加していることを確認します。

- 7 **Finish** (完了) をクリックして、**PC Restore Removal** (PC Restore の削除) ウィンドウを閉じて、コンピュータを再起動します。

Windows Vista: Dell Factory Image Restore

- 1 コンピュータの電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら、<F8> を数回押して Vista Advanced Boot Options ウィンドウにアクセスします。
- 2 コンピュータの修復 を選択します。
システム回復オプションウィンドウが表示されます。
- 3 キーボードレイアウトを選択して、次へ をクリックします。
- 4 回復オプションにアクセスするために、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするために、ユーザー名フィールドで administrator と入力し、OK をクリックします。
- 5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。



メモ：使用する構成によっては、**Dell Factory Tools**、**Dell Factory Image Restore** の順番で選択しなければならない場合もあります。

Dell Factory Image Restore ウェルカム画面が表示されます。

- 6 次へをクリックします。

Confirm Data Deletion (データ削除の確認) 画面が表示されます。



注意：Factory Image Restore の作業を続けたくない場合は、**Cancel** (キャンセル) をクリックします。

- 7 ハードドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスをオンにして、次へ をクリックします。

復元処理が開始します。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。オペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

- 8 **Finish** (完了) をクリックして、システムを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使用

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムを再インストールする場合は、Windows のデバイスドライバのロールバックを試してみます。106 ページの「Windows デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。112 ページの「Microsoft Windows システムの復元の使い方」を参照してください。



注意： この手順を実行する前に、お使いのプライマリハードドライブのすべてのデータファイルをバックアップします。標準的なハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、以下のアイテムが必要です：

- Dell™ オペレーティングシステムメディア
- Dell 『Drivers and Utilities』メディア





メモ： Dell 『Drivers and Utilities』メディアには、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。Dell 『Drivers and Utilities』メディアを使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータを購入した地域、またはメディアの注文の有無によっては、Dell 『Drivers and Utilities』メディアと『オペレーティングシステム』メディアがシステムに付属していない場合があります。

Windows XP または Windows Vista の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。



注意： 『オペレーティングシステム』メディアには、Windows XP の再インストール用のオプションが収録されています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。


- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム』 ディスクを挿入します。
- 3 Windows のインストールというメッセージが表示されたら、終了 をクリックします。
- 4 コンピュータを再起動します。
DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。
 -  メモ：キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。そしてコンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
 -  メモ：次の手順は、起動順序を一回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。
- 5 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。
- 6 **CD** から起動するには、いずれかのキーを押します。
- 7 画面の指示に従ってインストールを完了します。

コンピュータを携帯するときは

コンピュータの所有者の証明

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**if_found** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせて、ID タグコードを発行しているか確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。
 - コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
 - メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
 - コンピュータをシャットダウンします。
 - AC アダプタを取り外します。
-  注意：ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。
- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。

- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、シェービングクリーム、コロソ、香水、食べ物などと一緒にコンピュータを梱包しないでください。
- ➡ 注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程室温にならしてから電源を入れてください。
- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、汚れ、ほこり、液体または直射日光などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

- ➡ 注意：データ損失を防ぐために、光学ドライブを使用している間はコンピュータを動かさないでください。
- ➡ 注意：コンピュータを荷物として預けないでください。
- バッテリーの動作時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にしてみます。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、<Fn><F2> を押します。
- バッテリー駆動時間を最大にするために、電力の管理オプションの設定を変更してみます（32 ページの「省電力モード」を参照）。
- 海外にコンピュータを携帯する場合は、通関で所有や使用权を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）が必要な場合があります。覧 訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
- 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。
- クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

飛行機への持ち込み

- ➡ 注意：コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X線探知機に通すか、手検査を依頼してください。
- 手荷物チェックの際にコンピュータの電源を入れるよう指示される場合がありますので、必ず充電されたバッテリーを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

困ったときは

テクニカルサポートの利用法

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を完了します：

- 1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、85 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。
- 2 Dell Diagnostics (診断) プログラムの実行の手順については、77 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照してください。
- 3 128 ページの「診断チェックリスト」に必要事項を記入してください。
- 4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルのサポートウェブサイト (support.jp.dell.com) をご覧ください。デルサポートオンラインのより詳細なリストについては、124 ページの「オンラインサービス」を参照してください。
- 5 これまでの手順で問題が解決されない場合、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。



メモ：デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。



メモ：デルエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、**Dell Accessories** フォルダを開き、エクスプレスサービスコードアイコンをダブルクリックします。その後は、表示される指示に従ってください。

デルサポートの利用方法については、124 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。



メモ：これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ 製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 127 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、あなたの監視の下でブロードバンド接続を通じてあなたのコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができるようになります。詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスし、**DellConnect** をクリックしてください。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、次の Web サイトをご覧ください：

- **www.dell.com**
- **www.dell.com/ap** (アジア / 太平洋諸国)
- **www.dell.com/jp** (日本)
- **www.euro.dell.com** (ヨーロッパ)
- **www.dell.com/la** (ラテンアメリカおよびカリブ海諸国)
- **www.dell.ca** (カナダ)

デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび E-メールアドレスをご利用ください。

- デルサポートサイト
 - **support.dell.com**
 - **support.jp.dell.com** (日本)
 - **support.euro.dell.com** (ヨーロッパ)

- デルサポートの E- メールアドレス
 - mobile_support@us.dell.com
 - support@us.dell.com
 - la-techsupport@dell.com (ラテンアメリカおよびカリブ海諸国)
 - apsupport@dell.com (アジア/太平洋諸国)
- デルのマーケティングおよびセールスの E- メールアドレス
 - apmarketing@dell.com (アジア/太平洋諸国)
 - sales_canada@dell.com (カナダのみ)
- 匿名 FTP (file transfer protocol)
ftp.dell.com

ログインユーザー名：anonymous。パスワードには E- メールアドレスを入力してください。

ファックス情報サービス

ファックス情報サービスは、フリーコールでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。電話番号については、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題があれば、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト www.dell.com/jp をご覧ください。お住まいの地域のセールスの電話番号については、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

「こまった」ときの DELL パソコン Q&A をご覧ください：

- 1 はじめにデルの営業担当者にご連絡ください。デルから製品返送用の RMA ナンバー（返却番号）をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでください。
電話番号については、129 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。
- 2 納品書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。
- 3 実行したテストと Dell Diagnostics（診断）プログラム（77 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）から出力されたエラーメッセージを記入した Diagnostics（診断）チェックリスト（128 ページの「診断チェックリスト」を参照）のコピーを同梱してください。
- 4 修理や交換ではなく費用の支払いを希望される場合は、返品する製品のアクセサリ（電源ケーブル、ソフトウェアフロッピーディスク、マニュアルなど）も同梱してください。
- 5 返却品一式を出荷時のシステム梱包箱か同等の箱に梱包してください。

送料はお客様のご負担となります。また、お客様には返品する製品を保証する責任があり、デルへの搬送中に紛失する恐れも想定されます。代金引換払い（Collect On Delivery = C.O.D.）は受け付けられません。

上記要件のいずれかを欠く返品は受け付けられず、返送扱いとなります。

お問い合わせになる前に



メモ：お電話の際には、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがあると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、スタッフが（コンピュータの背面または底部にある）サービスタグナンバーをお訊ねする場合もございます。

診断チェックリストに前もってご記入ください(128 ページの「診断チェックリスト」を参照)。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。



警告：コンピュータ内部の作業を始める前に『製品情報ガイド』に記載されている「安全にお使いいただくための注意」を参照してください。

診断チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー（コンピュータ背面または底面のバーコードの番号）：

エクスペレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか？はい いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：


オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL (800-999-3355) までお電話ください。


 **メモ：**インターネット接続の環境にない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせ：

- 1 **support.jp.dell.com** をご覧ください。
- 2 ページの下にある **Choose A Country/Region** (お住まいの国 / 地域の選択) ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **Contact Us** (お問い合わせ) をクリックします。
- 4 目的のサービスまたはサポートを選択します。
- 5 自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選びます。

16

仕様

 **メモ**：提供されるものは地域により異なる場合があります。コンピュータの設定に関する詳細については、**スタート** → **ヘルプとサポート** をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ

プロセッサタイプ	Intel® Core™ 2 Duo および Solo、Celeron
L2 キャッシュ	最大 4 MB
外付けバスの周波数	533、667、および 800 MHz

システム情報

システムチップセット	Intel GM965
------------	-------------

メモリ

メモリモジュールの容量	2 個の SODIMM (512 MB、1 GB、2 GB のモジュールを装備) をサポート
メモリのタイプ	SODIMM
最小メモリ	512 MB
最大搭載メモリ	4 GB

ポートとコネクタ

オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
USB	2
ビデオ	15 ピンコネクタ

ポートとコネクタ（続き）

PCIe ExpressCard	54 mm PCI ExpressCard
3-in-1 カードリーダー	SD、MMC、MS、MS Pro、MS Duo、SDHCをサポート

通信

モデムのタイプ：	内蔵 MDC 1.5 ソリューション V.92 56 Kbps V.90 56 Kbps
ネットワークアダプタ	Marvell 88E8055 GB LAN (PCI Express Gigabit Ethernet)
ワイヤレス	内蔵 Bluetooth™ V 2.0 (ワイヤレス対応 USB 2.0 インタフェース装備)

ビデオ

ビデオタイプ	内蔵 Intel UMA graphics
データバス	PCI Express
ビデオコントローラ	Intel GM965
ビデオメモリ	256 MB の共有システムメモリ
LCD インタフェース	LVDS

オーディオ

オーディオタイプ	
オーディオコントローラ	RealtekALC268
ステレオ変換	18 ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インタフェース：	
内蔵	PCI バス / AC'97
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ

オーディオ (続き)

スピーカー	4 Ω スピーカー
内蔵スピーカーアンプ	1.5 W チャンネル (4Ω)
ボリュームコントロール	ショートカットキー、プログラムメニュー

ディスプレイ

タイプ (アクティブマトリックス WXGA TFT)

寸法 :

対角線 307.34 mm

最大解像度 :

WXGA 1280 x 800、16,700,000 色

応答時間 (通常)

20 ms ライズ (最大)、
30 ms フォール (最大)

リフレッシュレート

60 Hz

動作角度

0° (閉じた状態) ~ 180°

可視角度 :

水平方向

± 40° (XGA および SXGA+)
+50° / -60° (UXGA)
± 65° (WXGA、WSXGA+, および WUXGA)

垂直方向

+50° / -50°

WXGA

307.34 mm 1280 x 800、CCFL
または 307.34 mm 1280 x 800、LED B/L
をサポート

コントロール

輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード

キー数

87 (アメリカ、カナダ)、88 (ヨーロッパ)、91 (日本)

レイアウト

QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド

XY 位置解像度 (グラフィックス
テーブルモード) 240 cpi

寸法:

横幅 64.88 mm (センサー感知領域)

縦幅 48.88 mm の長方形

バッテリー

タイプ 4 セルス「マート」リチウムイオン (2400 mAh)
6 セル「スマート」リチウムイオン (4800 mAh)

重量

電圧 4 セル: 14.8 Vdc

6 セル: 11.1 Vdc

充電時間 (概算):

電源が切れている場合 2.5 時間

動作時間

バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。

バッテリーの動作時間の詳細に関しては、29 ページの「バッテリーの性能」を参照してください。

寿命 (概算)

300 回 (充電 / 放電)

温度範囲:

動作時 0 ° ~ 35 ° C

保管時 -40 ° ~ 65 ° C

AC アダプタ

入力電圧 100 ~ 240 VAC

入力電流 (最大) 1.6 A

入力周波数 50 ~ 60 Hz

AC アダプタ (続き)

出力電流

65 W 3.9 A (4 秒パルスするとき最大)
3.34 A (連続稼動の場合)

出力電力

65 W

定格出力電圧

19.5 +/- 1 VDC

ドライブ

オプティカルディスクドライブ

縦幅 12.7 mm

サポート CD-RW/DVD-ROM

タイプ DVD スーパーマルチ

ハードディスクドライブ

縦幅 9.5 mm SATA

容量 80、120、および 160 GB (5400 RPM)

寸法

縦幅 28.3 mm (フロントサイド)
36.3 mm (リアサイド)

横幅 300 mm

長さ 222 mm

重量：

4 セルバッテリーおよび 12.1
WXGA 画面 1.8 kg

環境

温度範囲：

動作時 0 ° ~ 40 ° C

保管時 -40 ° ~ 65 ° C

環境（続き）

相対湿度（最大）：

動作時 10～90%（結露しないこと）

保管時 5～95%（結露しないこと）

最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：

動作時 0.9 GRMS

保管時 1.3 GRMS

最大衝撃（HDDのヘッド停止位置で2ミリ秒のハーフサインパルスで測定）：

動作時 122 G

保管時 163 G

高度（最大）：

動作時 -15.2～3,048 m

保管時 -15.2～10,668 m

空気中浮遊汚染物質レベル

G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内


付録

FCC Notices (U.S. 限定)

FCC Class B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件にしたがって使用してください：

- 1 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
 - 2 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。
-  **注意：**FCC 規則では、Dell Inc. によって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします：

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に注意してシステムの位置を変えてください。
- システムを受信機から離して置いてください。
- システムを別のコンセントに差し込み、システムと受信機の分岐回路が異なるようにしてください。


必要に応じて、弊社のカスタマーケアまたはラジオ / テレビの経験を積んだ技術者に連絡し、アドバイスをもらってください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです：


- 製品名：Dell™ Vostro™ 1200
- モデル番号：PP16S
- 会社名：
Dell Inc.
Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs
One Dell Way
Round Rock, TX 78682 USA
512-338-4400

 メモ：規定の詳細については、『製品情報ガイド』を参照してください。

コンピュータのクリーニング

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびディスプレイ

 **警告：**コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータをコンセントから抜いて、取り付けられているバッテリーをすべて外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- キーボードのキーの間のほこりをクリーニングするには、圧縮空気の缶スプレーを使用します。



注意：コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。



注意：布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

- 水、またはディスプレイ専用静電気防止コーティング用の溶液で湿らせた、柔らかく糸くずの出ない布で、ディスプレイがきれいになるまで拭きます。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。


マウス (非オプティカル)

- 1 マウスの底部にある固定リングを左に回し外します。ボールを取り出します。
- 2 清潔な、糸くずの出ない布でボールを拭き取ります。
- 3 ボールが入っているケージ内のほこりや糸くずを注意深く吹き飛ばします。
- 4 ボールケージの中にあるローラーをイソプロピルアルコールを軽く含ませた綿棒で汚れを拭き取ります。
- 5 必要に応じて、ローラーを溝の中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残っていないか確認します。
- 6 ボールと固定リングをマウスに取り付けて、固定リングを時計回りに回して元の位置にはめ込みます。


タッチパッド

- 1 シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
- 2 コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
- 3 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します (34 ページの「バッテリーの取り外し」を参照)。
- 4 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

CD および DVD

-  **注意:** CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができます。
-  **注意:** 円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

- 2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹼の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD用のクリーナーはDVDにも使用できます。

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current (交流) — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードドライブホストコントローラのインタフェースです。ストレージドライバは、これによってネイティブコマンドキューイング (NCQ) やホットプラグのようなテクノロジーを有効にできます。

ASF — alert standards format — 管理コンソールにハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるよう設計されています。

B

BIOS — basic input/output system (基本入出力システム) コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム (またはユーティリティ) です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bit — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

bps — bits per second (ビット / 秒) データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit (英国熱量単位) 発熱量の単位です。

C

C — 摂氏(Celsius) 温度の測定単位で、水の氷点を 0°、沸点を 100°としています。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます(再書き込み)。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、CD-RW(書き換え可能な CD) ディスクや CD-R(書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — 「コンボドライブ」とも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW(書き換え可能な CD) ディスクや CD-R(書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CMOS — 電気回路の一種。コンピュータは少量のバッテリーで動く CMOS メモリを使用して、日付と時刻、およびセットアップユーティリティオプションを保持します。

COA — Certificate of Authenticity(実物証明書) お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windows の英数文字のコードです。**Product Key**(プロダクトキー) や **Product ID**(プロダクト ID) とも呼ばれます。

Consumer IR Port — 特定のソフトウェアアプリケーションを何らかのシステムで Dell Travel Remote によって制御できるようにする、コンピュータの正面にあるポートです。他のシステムでは、このポートによってケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるようになります。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module(連続式 RIMM) メモリチップの搭載されていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM(ダブルデータ速度 SDRAM) データバーストサイクルを 2 倍にする SDRAM の一種です。システムの性能が向上します。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM(ダブルデータ速度 2 SDRAM) — 4 ビットプリフェッチおよびその他のアーキテクチャ上の変更により、メモリ速度を 400 MHz 以上にしたタイプの DDR SDRAM。

Dell Travel Remote — マルチメディアコンテンツを楽しむための簡単な機能を提供する、ノートブックコンピュータの ExpressCard スロットに格納される小さなリモートコントロール。

DIMM — dual in-line memory module — システム基板のメモリモジュールに接続されるメモリチップを搭載した回路基板です。

DMA — direct memory access — DMA チャンネルを使うと、RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理標準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line — アナログ電話回線を介して、安定した高速インターネット接続を提供するテクノロジーです。

DVD-R — DVD recordable — 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます (再書き込み)。 (DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジとは異なります。)

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface (デジタルビデオインタフェース) コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標準です。

E

ECC — error checking and correction (エラーチェックおよび訂正) メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取ったりするときに、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の 1 つです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference (電磁波障害) 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

ENERGY STAR® — Environmental Protection Agency (米国環境保護局) が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの仕様の 1 つです。

ESD — electrostatic discharge (静電気障害) — 静電気の急激な放出のことで、ESD は、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。ExpressCard の一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両規格をサポートします。

F

FBD — fully-buffered DIMM(完全バッファ型 DIMM) — DDR2 SDRAM チップと、DDR2 SDRAM チップとシステムとの間の通信を高速化する Advanced Memory Buffer (AMB) を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission (米国連邦通信委員会) — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行する アメリカの機関。

FSB — front side bus — プロセッサと RAM の間のデータ経路および物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol (ファイル転送プロトコル) — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイルの交換に利用される標準のインターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB (1,073,741,824 バイト) です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は GHz 単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする対話型ソフトウェアです。Windows オペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムは GUI です。

H

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されているコンピュータ間でのファイル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ 周波数の単位です。1 秒間 1 サイクルで周波数 1 Hz です。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ (kHz)、メガヘルツ (MHz)、ギガヘルツ (GHz)、またはテラヘルツ (THz) 単位で計測される場合もあります。

I

iAMT — Intel® Active Management Technology — コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず、またはオペレーティングシステムが応答していないかどうかにかかわらず、よりセキュアな管理機能を提供します。

IC — integrated circuit (集積回路) コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output (入出力) — コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力したりする動作またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

IrDA — Infrared Data Association (赤外線通信協会) — 赤外線通信の国際標準を作成する組織です。

IRQ — interrupt request (割り込み要求) — デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできませんが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider (インターネットサービスプロバイダ) — インターネットへの接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料 (月払い) で提供します。

K

Kb — キロビット — 1024 バイトに相当するデータの単位です。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位。1 KB は 1024 バイトです。または 1000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 1000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network (ローカルエリアネットワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN(ワイドエリアネットワーク)を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルのディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode (発光ダイオード) — コンピュータのステータスを示す光を発する電子コンポーネントです。

LPT — Line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレル接続の指定先です。

M

Mb — メガビット — 1024 KB に相当するメモリチップの容量の単位です。

Mbps — メガビット / 秒 (Mbps) — 1,000,000 ビット / 秒。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。1 MB は 1,024 KB です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

MP — メガピクセル — デジタルカメラに使用される画像解像度の単位です。

ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュータの電源が切れたり、外部電源が停止したりした場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — PCI インタフェースの改良版で、プロセッサとそれに接続されているデバイス間のデータ転送を高速化します。PCI Express は、250 MB/sec ~ 4 GB/sec の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIO — programmed input/output — データパスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test (電源投入時の自己テスト) — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントの基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムがないネットワークコンピュータを設定し、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。RAID の実装レベルには、RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 などがあります。

RAM — random-access memory (ランダムアクセスメモリ) — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

RFI — radio frequency interference (無線電波障害) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起しやす傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込んだりできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCST — real-time clock reset — 一部のコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SAS — serial attached SCSI — 従来のパラレル SCSI に対し、より高速なシリアル形式の SCSI インタフェースです。

SATA — serial ATA — より高速なシリアル形式の ATA (IDE) インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハードドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナなどのデバイスをコンピュータに接続するのに使用される高速インタフェースです。SCSI では、単一のコントローラを使って多数のデバイスを接続できます。SCSI コントローラバスでは、個々の識別番号を使って各デバイスにアクセスします。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ) — プロセッサの最適クロック速度と同期された DRAM の一種です。

SIM — Subscriber Identity Module — SIM カードには、音声およびデータの転送を暗号化するマイクロチップが搭載されています。SIM カードは電話やノートブックコンピュータに使用できます。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ — ハードドライブを保護するために強化されたプラットフォームベース部分です。コンピュータの電源がオンのときでもオフのときでも、コンピュータを落としたとき、または振動などのショックが与えられたときに、衝撃吸収体として機能します。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGA の通常の解像度は **800 x 600** および **1024 x 768** です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

SXGA — super-extended graphics array — **1280 x 1024** までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — **1400 x 1050** までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスを Windows のプログラムでできるようにするインタフェースです。

U

UAC — user account control — Microsoft Windows Vista™ のセキュリティ機能であり、この機能を有効にすると、ユーザーアカウントと、オペレーティングシステム設定へのアクセスの間にセキュリティの層がもう 1 つ追加されます。

UMA — unified memory allocation — ビデオに動的に割り当てられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源装置) — 電氣的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のコンピュータネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 x 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通ずる抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

Whr — ワット時 おおよそのバッテリー容量を示すのに通常利用される計測単位です。たとえば、66 Whr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、または 33 W を 2 時間供給できます。

WLAN — wireless local area network (ワイヤレスローカルエリアネットワーク)。インターネットアクセスを可能にするアクセスポイントやワイヤレスルーターを使用し、電波を介して互いに通信する一連の相互接続コンピュータを指します。

WWAN — wireless wide area network (ワイヤレスワイドエリアネットワーク)。セルラーテクノロジーを使用した、ワイヤレスの高速データネットワークで、WLAN よりもはるかに広い地域に対応します。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 x 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 x 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

あ

I/O アドレス — 特定のデバイス（シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど）に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

アンチウイルスソフトウェア — コンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

オプティカルドライブ — CD、DVD または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッドまたはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、モニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み不可に設定 — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上（コンピュータによって異なる場合もあります）のコネクタです。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けた時に PC カードスロットからカードの端がはみ出しています。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

華氏 — Fahrenheit — 温度の測定単位で、水の氷点を 32 °、沸点を 212 ° としています。

キーの組み合わせ — 同時に複数のキーを押してコンピュータを操作します。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動用メディア — コンピュータを起動するのに使用する CD、DVD、またはフロッピーディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD、起動 DVD、または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities』メディアは起動用メディアです。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の特別な予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックモード — x 水平画素数、y 垂直画素数および z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロック速度 — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。商品パスポートとも呼ばれます。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するための Windows ユーティリティです。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

さ

サージプロテクタ — 雷などが原因で、コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護されません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの support.jp.dell.com にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話でお問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータに搭載されている主要回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

シリアルコネクタ — コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用される I/O ポートです。

指紋リーダー — コンピュータのセキュリティの一環としてユーザーの認証に指紋を使用するストリップセンサーです。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、およびハードディスク上にエラーがないかどうかをチェックする Microsoft ユーティリティです。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして、電力を節約する省電力モードです。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

ZIP ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定したりするのに使うプログラムです。ほとんどの Windows 用ソフトウェアパッケージには、**setup.exe** または **install.exe** というプログラムが付属しています。セットアッププログラムはセットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティ。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

た

DIN コネクタ — 丸い 6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用されます。

ディスクのストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

デバイスドライバ — **ドライバ**を参照してください。

デュアルコア — 演算を行う物理ユニットを単一のプロセッサパッケージ内に搭載したテクノロジーで、演算の効率とマルチタスク機能を向上させます。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

ドッキングデバイス — ノートブックをデスクトップワークスペースに適應させるために、ポートレプリケーション、ケーブル管理、およびセキュリティ機能を提供します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスを、オペレーティングシステムが制御できるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるよう設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

な

内蔵 — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板上にネットワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、**NIC**（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

ハイパースレッディング — ハイパースレッディングは Intel のテクノロジーで、1つの物理プロセッサを2つの論理プロセッサとして機能させることでパフォーマンスを全体的に向上し、複数のタスクを同時に処理することを可能にします。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充電量を維持できる時間（分または時間数）です。

パラレルコネクタ — コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用される I/O ポートです。LPT ポートとも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度 (800 x 600 など) は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供するビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックをモニターに表示する際のモードです。グラフィックをベースにしたソフトウェア (Windows オペレーティングシステムなど) は、x 水平ピクセル数 ~ y 垂直ピクセル数 ~ z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア (テキストエディタなど) は、x 列 ~ y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整理したりグループ化したりするスペースを表す用語です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備する工程のことです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

ブルーレイ ディスク™ (BD) — 光学ストレージ技術であり、最大ストレージ容量 50 GB、1080p の最大ビデオ解像度 (HDTV 必須)、および 7.1 チャンネルのネイティブな非圧縮のサラウンドサウンドを提供します。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー — 短距離 (9 メートル) 内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

プロセッサ — プログラム命令を解析して実行するコンピュータチップです。プロセッサは、CPU (中央演算処理装置) と呼ばれます。

ら

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線 (または垂直周波数) が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

ま

ミニ PCI — モデムや NIC などの通信を重視した内蔵周辺機器の標準です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカードです。

メディアベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類があります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てるプロセスです。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PCカード、および内蔵モデムの3種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続やE-メールの交換に使用されます。

モジュールバイ — メディアバイを参照してください。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用を設定できます。

- フロッピーディスク、CD、またはDVDを書き込み保護にしている場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

索引

C

- CD 49
 - オペレーティングシステム 17
 - 再生 47
- CD のコピー
 - 一般情報 49
 - 方法 49
 - 役に立つヒント 51
- CD の再生 47

D

- DellConnect 124
- DVD 49
 - 再生 47
- DVD のコピー
 - 一般情報 49
 - 方法 49
 - 役に立つヒント 51
- DVD の再生 47

E

- ExpressCard
 - スロット 61
 - タイプ 61
 - ダミーカード 61, 63
 - 拡張 61

ExpressCard (続き)

- 取り外し 63
- 取り付け 62

I

- IRQ コンフリクト 77, 110

P

- PC カードスロット
 - 説明 23
- PC の復元 114

W

- Windows 2000
 - インターネット接続ファイアウォール 60
 - スタンバイモード 32
 - 休止状態モード 32
- Windows Vista
 - システムの復元 112
 - ファクトリイメージの復元 114
- Windows XP
 - PC の復元 114
 - インターネット接続ファイアウォール 60
 - システムの復元 111, 112

Windows XP（続き）

- スタンバイモード 32
- デバイスドライバのロールバック 106, 107
- ハードウェアトラブルシューティング 77, 110
- 休止状態モード 32
- 再インストール 17

WWAN モバイルブロードバンドを参照。

い

- インターネット
問題 85
- インターネット接続ファイアウォール 60

え

- エラーメッセージ
診断ライト 71
問題 87
- エンドユーザーライセンス契約 12

お

- オペレーティングシステム
メディア 117
再インストール 17

き

- キーパッド
数字 37
- キーボード
ショートカット 38
テンキーパッド 37
- キーボードステータスライト
説明 20

こ

- コンピュータ
クラッシュした場合 89, 90
以前の状態の復元 111
仕様 131
反応が停止した場合 89
- コンピュータの携帯
ID タグ 119
ヒント 120
梱包 119
飛行機 121
- コンピュータの盗難 69
- コンピュータの紛失 69
- コンフリクト
ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性問題 77, 110

さ

- サービスタグ 13

サポート
デルへのお問い合わせ 129

サポートサイト 14

し

システムの復元 111, 112

す

スキャナー
問題 94

スタンバイモード
説明 32

スピーカー
説明 21

せ

セキュリティケーブルスロット
説明 25

セットアップユーティリティ
一般的に使用されるオプション
102
画面 102
表示 102
目的 101

そ

ソフトウェア
コンフリクト 77, 110
問題 89, 90

た

タッチパッド 39
カスタマイズ 40
クリーニング 139

ダミーカード
ExpressCard 61
取り外し 63

て

ディスプレイ
デュアルディスプレイ動作 43
ビデオイメージの切り替え 41
プライマリとセカンダリ 45
輝度の調節 41
説明 20

デバイスステータスライト
説明 21

デバイスリリースラッチボタン
説明 28

デル
お問い合わせ 129

デルサポートサイト 14
デルへのお問い合わせ 129

と

ドライバ 105
確認 105
再インストール 106
説明 105

トラックスティックボタン /
タッチ패드ボタン

説明 21

トラブルシューティング

コンフリクト 77, 110

ハードウェアトラブルシュー
ティング 77, 110

以前の状態の復元 111, 112

診断ライト 71

ね

ネットワーク

ファイアウォールファイア
ウォール 60

問題 91

は

ハードウェア

コンフリクト 77, 110

ハードウェアに関するトラブル

シューティング 77, 110

パスワード

システム 66, 67

セキュリティ 66

プライマリ 66, 67

管理者 66, 67

説明 66

忘れる 66

バッテリー

電源メーター 30

バッテリー

取り外し 34

取り付け 35

充電 34

充電のチェック 30

性能 29

問題 85

ふ

ファイアウォール

Windows 2000 60

Windows XP 60

ファクトリイメージの復元 114,

116

プリンタ

問題 93

ま

マニュアル

エンドユーザーライセンス契約
12

オンライン 14

『製品情報ガイド』 12

安全 12

快適な使い方 12

規制 12

保証 12

め

メッセージ

エラー 87

メモリ
問題 91

も

モデム
問題 85

モニター
ビデオイメージの切り替え 41
見づらい場合 97

モバイルブロードバンド
ネットワーク接続 60
ワイヤレススイッチを参照。

ら

ライト
コンピュータのバックアップ
71
診断 71

ラベル
Microsoft Windows 13
サービスタグ 13

を

『Drivers and Utilities CD』 108

『Drivers and Utilities CD』 からの Dell Diagnostics (診断) プログラムの起動 80

『オペレーティングシステム
CD』 17

『製品情報ガイド』 12

安全にお使いいただくために 12

音量
調整 95

快適な使い方 12

起動順序 102

輝度
調節 41

休止状態モード 32

国際通行許可書 120

仕様 131

診断
ライト 71

診断ライト 71

赤外線センサー
有効 104

接続
モバイルブロードバンドネット
ワーク 60

通気孔
説明 24

電源
スタンバイモード 32
休止状態モード 32
問題 92

電源ボタン
説明 22

電源ライト 98
状態 92

電子メール
問題 85

電話番号 129

認可機関の情報 12

変更

タッチパッド 139

保証に関する情報 12

問題

インターネット 85

エラーメッセージ 87

コンピュータがクラッシュした
場合 89, 90

コンピュータの反応が停止した
場合 89

コンフリクト 77, 110

センサ 94

ソフトウェア 89, 90

ネットワーク 91

バッテリー 85

プリンタ 93

プログラムがクラッシュした場
合 89

プログラムの反応が停止した場
合 89

メモリ 91

モデム 85

モニターが見つからない場合 97

モニターに何も表示されない場
合 97

以前の状態の復元 111, 112
一般 89

音量の調整 95

画面が見つからない場合 97

画面に何も表示されない場合
97

診断ライト 71

青色の画面（ブルースクリー
ン）90

問題（続き）

電源 92

電源ライトの状態 92

電子メール 85